

実務経験のある教員等による授業科目の一覧表 2024

サービス経営学部 サービス経営学科

授業科目名	担当者	単位数	実務経験
エアライン実務論	服部 裕美子	2	国際線客室乗務員として、日本航空株式会社に約10年勤務。フライトタイム累計6,142時間。通常の定期便以外にも数多くの特別便(首相フライトや招待フライト)などを担当し、要人接遇の経験を積んだ。実務経験に基づき、世界のエアライン・サービスの現状とその趨勢、航空業界の実務とオペレーションについて理論と実践の融合を図っている。
海外フィールドワーク (エアライン)	服部 裕美子	2	国際線客室乗務員として、日本航空株式会社に約10年勤務。フライトタイム累計6,142時間。通常の定期便以外にも数多くの特別便(首相フライトや招待フライト)などを担当し、要人接遇の経験を積んだ。実務経験に基づき、世界のエアライン・サービスの現状とその趨勢、航空業界の実務とオペレーションについて理論と実践の融合を図っている。
エアライン・サービス論	馬場 哲也	2	航空会社に勤務。空港旅客業務や本社経営企画を担当。実務経験をもとにエアライン・サービスの特性について理論と実践の融合を図っている。
エアライン・ビジネス論	馬場 哲也	2	航空会社に勤務。空港旅客業務や本社経営企画を担当。実務経験をもとにエアライン・ビジネスの特性について理論と実践の融合を図っている。
ホテル・旅館経営論	馬場 哲也	2	航空会社ホテル事業部長およびホテル会社執行役員を経験。実務経験をもとにホテル運営・ホテル経営について理論と実践の融合を図っている。
ホテル・フードサービス論	馬場 哲也	2	航空会社ホテル事業部長およびホテル会社執行役員を経験。実務経験をもとにホテル・フードサービスについて理論と実践の融合を図っている。
ホテル・フード実務論	馬場 哲也	2	航空会社ホテル事業部長およびホテル会社執行役員を経験。実務経験をもとにホテル・フード実務について理論と実践の融合を図っている。
MICEビジネス論	馬場 哲也	2	航空会社ホテル事業部長およびホテル会社執行役員を経験。実務経験をもとに展覧会、国際会議、博覧会、スポーツ、文化イベントなどの多彩なMICE領域について理論と実践の融合を図っている。
コンシェルジュ論	富樫 文予	2	株式会社帝国ホテルに勤務。ホテル統括マーケティング部門・宿泊部門を担当。ゲストリレーションズ支配人などの経験をもとに、ホテルのホスピタリティやそれを支える組織や人材について理論と実践の融合を図っている。
ホテル・フードサービス論	富樫 文予	2	株式会社帝国ホテルに勤務。ホテル統括マーケティング部門・宿泊部門を担当。ゲストリレーションズ支配人などの経験をもとに、ホテル・フードサービスについて理論と実践の融合を図っている。
広告論	金澤 良昭	2	電機メーカーに勤務し広告・広報・販売促進などの業務を担当。実務経験をもとに広告について理論と実践の融合を図っている。
金融論	松澤 祐介	2	日本銀行に勤務。金融政策運営、金融市場、外為市場、企業動向の調査等に従事。実務経験をもとに、銀行業、金融政策運営、金融市場について理論と実践の融合を図っている。
国際金融論	松澤 祐介	2	日本銀行に総合職として勤務。国際局、調査統計局、企画室等で金融政策、金融市場等に関する調査を担当。実務経験をもとに国際金融の仕組み、政策対応等について話をします。
経済政策	松澤 祐介	2	日本銀行に勤務。金融政策運営およびそれに資する、金融市場、外為市場、企業動向の調査等に従事。実務経験をもとに、金融政策運営について理論と実践の融合を図っている。
観光サービス論	波瀾 郁代	2	株式会社JTBおよび株式会社JTB総合研究所に勤務。旅行商品の販売促進、広報実務、観光マーケティングに従事。JTBが50年以上発表し続けている、夏休み、年末年始、年間の旅行推計を15年以上担当。生活者のライフスタイルや価値観の変化による観光の変化を研究するとともに、国や自治体の交通政策や自治体の総合計画や観光ビジョンの有識者委員や公的団体のまちづくりの専門官を務めた。実務経験をもとに、観光サービスの理論と実践の融合を図っている。

授業科目名	担当者	単位数	実務経験
観光まちづくり論	波潟 郁代	2	株式会社JTBおよび株式会社JTB総合研究所に勤務。旅行商品の販売促進、広報実務、観光マーケティングに従事。JTBが50年以上発表し続けている、夏休み、年末年始、年間の旅行推計を15年以上担当。生活者のライフスタイルや価値観の変化による観光の変化を研究するとともに、国や自治体の交通政策や自治体の総合計画や観光ビジョンの有識者委員や公的団体のまちづくりの専門官を務めた。実務経験をもとに、観光サービスの理論と実践の融合を図っている。
観光資源論	波潟 郁代	2	株式会社JTBおよび株式会社JTB総合研究所に勤務。旅行商品の販売促進、広報実務、観光マーケティングに従事。JTBが50年以上発表し続けている、夏休み、年末年始、年間の旅行推計を15年以上担当。生活者のライフスタイルや価値観の変化による観光の変化を研究するとともに、自治体の総合計画や観光ビジョンの有識者委員や公的団体のまちづくりの専門官を務めた。実務経験をもとに観光資源の理論と実践の融合を図っている。
観光実務論	波潟 郁代	2	株式会社JTBおよび株式会社JTB総合研究所に勤務。旅行商品の販売促進、広報実務、観光マーケティングに従事。JTBが50年以上発表し続けている、夏休み、年末年始、年間の旅行推計を15年以上担当。コロナ禍の3年間における旅行の変化を各種データや意識調査から研究した。実務経験をもとに、観光実務の理論と実践の融合を図っている。
ニューツーリズム論	波潟 郁代	2	株式会社JTBおよび株式会社JTB総合研究所に勤務。旅行商品の販売促進、広報実務、観光マーケティングに従事。JTBが50年以上発表し続けている、夏休み、年末年始、年間の旅行推計を15年以上担当。生活者のライフスタイルや価値観の変化による観光の変化を研究するとともに、自治体の総合計画や観光ビジョンの有識者委員や公的団体のまちづくりの専門官を務めた。実務経験をもとにニューツーリズムの特性について理論と実践の融合を図っている。
合計		38	

授業形態	開講学部	サービス経営学部		選択	2単位	講義＋施設見学	
	2年次	開講期	後期	ディスカッション	無	学外授業	有
授業科目（英名）	エアライン実務論(Practices in Airline Business)						
担当教員名	服部 裕美子 (◎は科目責任者)						
<p>〔授業の概要〕 観光におけるエアラインの位置づけを概観します。エアライン業界の特徴や、各職種の業務を学ぶことで「顧客の満足や感動の向上」を実現するために、エアライン各社がどのようなサービスを提供しているかを明らかにします。世界的規模で推進されるネットワーク構築の拡大と顧客サービスの関わり、更にアライアンスを基軸とした観光業界全体の再編に繋がる大きな流れも把握します。またエアライン業界は、世界の政治・経済・気候・病疫等のイベントリスクにさらされています。世界の動向を把握するために観光&エアラインニュースも把握していきます。</p> <p>〔科目の位置付け（全学年を通しての関連科目）〕 この科目は、本学部のカリキュラム・ポリシー（3）すなわち、ホスピタリティ・ツーリズムコースの実践的で柔軟な専門性を修得する科目として位置づけられます。特に、観光の振興に寄与する人材-エアラインの最前線でサービスに従事する人材育成のための基礎科目です。時代の変化に伴い顧客のニーズも大きく変化し、エアラインのサービスも多様化していますが、観光立国を標榜する日本において、エアラインの果たすべき役割と使命はますます大きく期待されています。「おもてなし」を体現できる、世界に通用するエアラインスタッフになるための基礎知識の修得が主たる目的ですが、エアライン以外のホスピタリティ業界をめざす受講生にとっても、同様に有意義であると思われる。</p> <p>〔到達目標〕 (1)観光におけるエアラインの役割や位置づけ、エアラインのサービス体系を理解し、エアラインスタッフに必要な業界の基礎知識を説明できる。 (2)世界のエアラインの中から特に興味を持った会社について課題に沿ってリサーチをして、発表ができる。 (3)世界の政治・経済・気候・病疫等のイベントリスクと観光や航空業界の動向との関係を把握し、業界の課題を述べるができる。</p>							
回	授業計画			授業外学修 (事前学修・事後学修)		担当者	
1	ガイドランス： エアラインを取り巻く環境と観光業界における役割			事前学修（90分）：シラバスをよく読み、この授業の趣旨・内容、評価方法を確認する 事後学修（90分）：指定の設問に回答しAAAIに提出する		服部裕美子	
2	エアラインの歴史と現代的使命： エアラインの誕生から現代のエアライン業界の動向までを学びます			事前学修（90分）：エアラインの始まりについて指定書式に回答しAAAIに提出する。 事後学修（90分）：指定の設問に回答しAAAIに提出する		服部裕美子	
3	世界の航空機その構造と機種： 飛行理論について理解を深め、世界二大航空機メーカーについて学びます			事前学修（90分）：世界の二大航空機メーカーについて指定書式に回答しAAAIに提出する。 事後学修（90分）：指定の設問に回答しAAAIに提出する		服部裕美子	
4	世界の空港とその機能： 空港の基本的な設備と機能を学びます。主たる空港コードを覚えます。			事前学修（90分）：世界の空港を3か所選り指定書式に回答しAAAIに提出する。 事後学修（90分）：指定の設問に回答しAAAIに提出する		服部裕美子	
5	世界のエアラインとアライアンス： 世界の主たるエアラインを把握し、アライアンスによる業界のグループ分けが進んでいることを学びます。エアラインコードを覚えます			事前学修（90分）：三大アライアンスについて指定書式に回答しAAAIに提出する。 事後学修（90分）：指定の設問に回答しAAAIに提出する		服部裕美子	
6	エアラインの業務とそのサービス： エアラインが提供するサービスについて学びます。			事前学修（90分）：エアラインのサービスについて指定書式に回答し、AAAIに提出する。 事後学修（90分）：指定の設問に回答しAAAIに提出する		服部裕美子	
7	グランドスタッフの業務と適性： 空港の花形職種であるグランドスタッフの具体的な仕事と流れ、求められる適性を学びます			事前学修（90分）：グランドスタッフの仕事内について指定書式に回答しAAAIに提出する。 事後学修（90分）：指定の設問に回答しAAAIに提出する		服部裕美子	
8	客室乗務員の業務と適性： エアラインの花形職種である客室乗務員の具体的な仕事と流れ、求められる適性を学びます			事前学修（90分）：客室乗務員の仕事内容について指定書式に回答しAAAIに提出する。 事後学修（90分）：指定の設問に回答しAAAIに提出する		服部裕美子	
9	空港見学に関する事前研修： 見学当日の流れと、注意点を説明します。グループに分かれて当日の役割分担をします。			事前学修（90分）：空港見学事前課題について指定書式に回答しAAAIに提出する。 事後学修（90分）：指定の設問に回答しAAAIに提出する		服部裕美子	
10	羽田空港見学： 計画書に従って、第1から第3ターミナルを探索します。			事前学修（90分）：空港見学課題レポートの下調べをする 事後学修（90分）：空港見学課題レポート作成		服部裕美子	
11	FSCとLCC： 格安航空会社の歴史とサービスのスタイルを学びます。			事前学修（90分）：LCCについて指定書式に回答しAAAIに提出する 事後学修（90分）：指定の設問に回答しAAAIに提出する		服部裕美子	
12	航空会社研究1： 対象とする航空会社を選び研究発表を行います			事前学修（90分）：日本の航空会社2社について指定書式に回答しAAAIに提出する。 事後学修（90分）：指定の設問に回答しAAAIに提出する		服部裕美子	

13	航空会社研究2： 対象とする航空会社を選び研究発表を行います	事前学修（90分）：海外の航空会社2社について指定書式に回答しAAAに提出する。 事後学修（90分）：指定の設問に回答しAAAに提出する	服部裕美子
14	エアライン知識のまとめ①： これまでの知識を整理し、課題に取り組みます	事前学修（90分）：エアラインの各種ランキングについて指定書式に回答しAAAに提出する。 事後学修（90分）：指定の設問に回答しAAAに提出する	服部裕美子
15	エアライン知識のまとめ②： これまでの知識を整理し、課題に取り組みます	事前学修（90分）：選択したテーマについて指定書式に回答しAAAに提出する。 事後学修（90分）：最終課題レポート作成	服部裕美子
成績評価の方法と基準		授業参画度（30%）、提出課題（30%）、期末試験（40%）により総合的に判断します。	
履修上の留意点		①エアラインの仕事は、世界の政治・経済と密接な関係で成り立っています。新聞や経済誌を読み、時事問題や世界情勢を把握しておく必要があります。 ②第5回目「エアラインの業務とそのサービス」の回で、業界で活躍中のゲスト講師を招く場合があります。現場の状況をアップデートするためです。 ③講義内容の理解促進のために羽田空港見学を実施する予定です。空港見学の交通費は、各自負担になります。日程の詳細は別途指示しますが、通常の授業曜日以外（土日祝）に実施する予定です。	
ディプロマ・ポリシーとの関連		この科目は、サービス経営学部のディプロマポリシー（1）（2）（3）と関連します。特に（1）との関与度が高い科目です。	
教科書		『航空知識のABC』イカロス出版、2020年	
参考書・参考資料		授業内で、随時紹介します。	
学生との連絡方法		AAAを使用します。詳細は初回の授業で説明します。	
実務経験科目		実務経験科目に該当する。国際線客室乗務員として、日本航空株式会社に約10年勤務。フライトタイム累計6,142時間。通常の定期便以外にも数多くの特別便（首相フライトや招待フライト）などを担当し、要人接遇の経験を積んだ。実務経験に基づき、世界のエアライン・サービスの現状とその趨勢、航空業界の実務とオペレーションについて理論と実践の融合を図っている。	

授業形態	開講学部	サ経		選択	2単位	講義と実習	
	1年次	開講期	前期・後期	ディスカッション	無	学外授業	有
授業科目（英名）	海外フィールドワーク(エアライン)(Overseas Fieldworks)						
担当教員名	服部 裕美子 (◎は科目責任者)						
<p>〔授業の概要〕 韓国のグローバル・エアラインとの共同プロジェクトとして、ソウルを訪問します。仁川空港公社、グローバル・エアライン本社とその関連施設、トレーニング・センターでの研修&訓練体験を通して、エアライン業界人としての国際的な視点を獲得すると同時に、エアラインスタッフとしての素養を磨きます。男女共に、参加者は実際の訓練施設で実際の訓練生と同様に、立居振舞、表情、身だしなみ、アナウンス技法等を学びます。</p> <p>〔科目の位置付け(全学年を通しての関連科目)〕 ホスピタリティ・ツーリズムコースの体験実習科目です。観光業界でも、アジアのマーケットが目まぐるしく変化していますが、その中でも、特にソウルは、3年連続「世界最高のビジネスミーティング都市」に選ばれ、かつ仁川国際空港が2004年から10年連続で「世界最高の空港賞」を獲得する等、国を挙げての観光政策が結実した、MICE 誘致の成功例として特筆されます。その成功を支えている韓国のグローバル・エアライン本社や関連施設を訪問する事で、エアラインが観光政策に果たす役割やそのホスピタリティ教育の在り方を考察します。</p> <p>〔到達目標〕 ①国際的な視点でツーリズムを捉えること。 ②観光政策とエアラインの関係を理解すること。 ③グローバル・エアラインの役割と使命について考察すること。 ④エアラインに求められるホスピタリティを体現できるようになること。 ⑤エアライン業界にふさわしい立ち居振る舞いと身だしなみができること。</p>							
回	授業計画			授業外学修 (事前学修・事後学修)		担当者	
1	ガイダンス： 授業内容を説明します。また海外研修の詳細について質問に答えます。			事前学修(30分)：シラバスをよく読み、授業趣旨や内容、評価方針について理解を深める 事後学修(30分)：指定の設問に回答しAAAIに提出する		服部裕美子	
2	韓国と日本の関係： 最近の両国間の関係について、ニュースを紐解いて学びます。			事前学修(30分)：日韓関係について指定書式を用いAAAIに提出する 事後学修(30分)：指定の設問に回答しAAAIに提出する		服部裕美子	
3	韓国の歴史： 韓国の主たる歴史について研究した内容を、グループ単位で発表します。			事前学修(30分)：韓国の歴史について指定書式を用いAAAIに提出する 事後学修(30分)：指定の設問に回答しAAAIに提出する		服部裕美子	
4	韓国の経済： 現代韓国の経済状況について研究した内容を、グループ単位で発表します。			事前学修(30分)：韓国の経済について指定書式を用いAAAIに提出する 事後学修(30分)：指定の設問に回答しAAAIに提出する		服部裕美子	
5	韓国の政治： 現代韓国の政治状況を研究した内容を、グループ単位で発表します。			事前学修(30分)：韓国の政治について指定書式を用いAAAIに提出する 事後学修(30分)：指定の設問に回答しAAAIに提出する		服部裕美子	
6	韓国の文化： 韓国の代表的な文化的特徴について研究した内容を、グループ単位で発表します。			事前学修(30分)：韓国の文化の特徴について指定書式を用いAAAIに提出する 事後学修(30分)：指定の設問に回答しAAAIに提出する		服部裕美子	
7	韓国の教育制度： 韓国の教育制度の特徴について研究した内容を、グループ単位で発表します。			事前学修(30分)：韓国の教育制度について指定書式を用いAAAIに提出する 事後学修(30分)：指定の設問に回答しAAAIに提出する		服部裕美子	
8	韓国の地理： 韓国の地理の特徴について研究した内容を、グループ単位で発表します。			事前学修(30分)：韓国の地理について指定書式を用いAAAIに提出する 事後学修(30分)：指定の設問に回答しAAAIに提出する		服部裕美子	
9	韓国の観光資源： 韓国の代表的な観光資源の特徴について研究した内容を、グループ単位で発表します。			事前学修(30分)：韓国の観光資源について指定書式を用いAAAIに提出する 事後学修(30分)：指定の設問に回答しAAAIに提出する		服部裕美子	
10	韓国の航空政策とエアライン： 航空政策と韓国の代表的なエアライン2社の特徴について研究した内容を、グループ単位で発表します。			事前学修(30分)：韓国の航空政策について指定書式を用いAAAIに提出する 事後学修(30分)：指定の設問に回答しAAAIに提出する		服部裕美子	
11	Airline English①： 空港で必須の英語表現を学びます。			事前学修(30分)：資料指定箇所を予習しレポートをAAAIに提出する 事後学修(30分)：指定の設問に回答しAAAIに提出する		服部裕美子	
12	Airline English②： 機内で必須の英語表現を学びます。			事前学修(30分)：資料指定箇所を予習しレポートをAAAIに提出する 事後学修(30分)：指定の設問に回答しAAAIに提出する		服部裕美子	

13	Airline English③: ホテルで必須の英語表現を学びます。	事前学修(30分):資料指定個所を予習しレポートをAAAに提出する 事後学修(30分):指定の設問に回答しAAAに提出する	服部裕美子
14	Airline English④: 観光で必須の英語表現を学びます。	事前学修(30分):資料指定個所を予習しレポートをAAAに提出する 事後学修(30分):指定の設問に回答しAAAに提出する	服部裕美子
15	Airline English⑤: 韓国の研修先で覚えておくべき英語表現を学びます。	事前学修(30分):資料指定個所を予習しレポートをAAAに提出する 事後学修(30分):指定の設問に回答しAAAに提出する	服部裕美子
16	実習(仁川国際空港訪問)		服部裕美子
17	実習(アジアナ航空本社訪問)		服部裕美子
18	実習(Welcome to Asiana)		服部裕美子
19	実習(Make-up & Hair do)		服部裕美子
20	実習(Image making)		服部裕美子
21	実習(Walking)		服部裕美子
22	実習(Service Roll-play)		服部裕美子
23	実習(In-flight service)		服部裕美子
24	実習(着水訓練)		服部裕美子
25	実習(乗務員との対話)		服部裕美子
26	実習(異文化体験研修)		服部裕美子
27	研修レポート作成		服部裕美子
28	研修レポート作成		服部裕美子
29	研修レポート発表		服部裕美子
30	研修レポート発表		服部裕美子
成績評価の方法と基準 事前学習(30%)、海外実習(40%)、成果報告(30%)により総合的に評価します。			
履修上の留意点 前期と後期の座学授業(全15回)と、2024年2月のソウルでの研修をもって、講座が構成されています。この授業の申込が15名定員を満たさない場合は、開講ができませんのでご了承ください。			
ディプロマ・ポリシーとの関連 この科目は、本学部のカリキュラム・ポリシー(4)、すなわち、講義で培った知識やスキルと体験による総合的な学修経験を得る科目として位置づけられます。海外フィールドワークは、学生の能力開発を知識・体験の両面から支えるキャリア開発科目です。			
教科書 指定教科書はありません。			
参考書・参考資料 必要に応じて、随時配布をします。			
学生との連絡方法 AAAでの連絡を基本とします。毎回の授業前後に必ず確認をお願いします。			
実務経験科目 実務経験科目に該当する。国際線客室乗務員として、日本航空株式会社に約10年勤務。フライトタイム累計6,142時間。通常の定期便以外にも数多くの特別便(首相フライトや招待フライト)などを担当し、要人接遇の経験を積んだ。実務経験に基づき、世界のエアライン・サービスの現状とその趨勢、航空業界の実務とオペレーションについて理論と実践の融合を図っている。			

授業形態	開講学部	サービス経営学部		選択	2単位	講義	
	3年次	開講期	前期	ディスカッション	無	学外授業	無
授業科目 (英名)	エアライン・サービス論 (Airline Service)						
担当教員名	馬場 哲也 (◎は科目責任者)						
<p>[授業の概要] 国際線エアラインのサービスを軸に、基本的なサービスを概観します。エアライン業界の特性や各職種の業務を学ぶことでエアラインがどのようなサービスを提供しているのかを明らかにします。また、世界の主要文化や慣習について、日本との相違点を通じて異文化理解を深めます。</p> <p>[科目の位置付け (全学年を通しての関連科目)] この科目は、本学部のカリキュラム・ポリシー (3)、すなわち、ホスピタリティ・ツーリズムコースの実践的で柔軟な専門性を修得する科目として位置づけられます。 エアラインのサービス全体の流れや特徴を軸に、各種業務やスタッフの業務特性、航空運送に関わる役割、サービス内容等を理解します。更に異文化対応の基本を学び、国際文化についても理解を深めます。</p>							
<p>[到達目標] (1) エアライン・サービスビジネスの基本的な知識を修得する。 (2) エアライン・サービスビジネスについて修得・考察した結果を実践的に表現することができる。</p>							
回	授業計画			授業外学修 (事前学修・事後学修)		担当者	
1	オリエンテーション、シラバスの説明 授業の内容、進め方を説明します。エアライン・ネットワークの基礎となる世界地理を概観します。			事前学修 (90分) : 日本のエアラインにはどのような企業があるのか調べておく 事後学修 (90分) : プリント・ノートを確認・理解		馬場	
2	日本における主要エアライン 日本の主要エアラインの事業領域を整理し、理解を深めます。			事前学修 (90分) : 日本の主要エアラインの航空路線を調べておく 事後学修 (90分) : プリント・ノートを確認・理解		馬場	
3	エアラインのクラス別サービスの実例 国内線、国際線のクラス別仕様、サービスの比較分析を行います。			事前学修 (90分) : エアラインのクラス別サービスを調べておく 事後学修 (90分) : プリント・ノートを確認・理解		馬場	
4	国内線空港での搭乗手続き 国内線旅客の搭乗手続きと動線、空港職員の機能と役割を学びます。			事前学修 (90分) : 国内線空港の旅客動線を調べておく 事後学修 (90分) : プリント・ノートを確認・理解		馬場	
5	国際線空港での搭乗手続き 国際線旅客の搭乗手続きと動線、空港職員の機能と役割を学びます。			事前学修 (90分) : 国際線空港の旅客動線を調べておく 事後学修 (90分) : プリント・ノートを確認・理解		馬場	
6	日本と世界の主要な空港施設 日本と世界の主要な空港における施設・機能を概観します。			事前学修 (90分) : 空港の業務を調べておく 事後学修 (90分) : プリント・ノートを確認・理解		馬場	
7	空港の機能と業務 日本の空港で働く種々のスタッフの役割と具体的業務を学びます。			事前学修 (90分) : 空港での職種を調べておく 事後学修 (90分) : プリント・ノートを確認・理解		馬場	
8	まとめ 前半のまとめを行います。			事前学修 (90分) : 今までのまとめをしておく 事後学修 (90分) : プリント・ノートを確認・理解		馬場	
9	グランドスタッフの業務 エアラインのグランドスタッフの具体的業務と求められる適性について学びます。			事前学修 (90分) : エアラインの地上業務を調べておく 事後学修 (90分) : プリント・ノートを確認・理解		馬場	
10	客室乗務員の業務 (Cabin Attendant) ① 客室乗務員の基本的使命・役割と具体的業務について学びます。			事前学修 (90分) : 客室乗務員の業務を調べておく 事後学修 (90分) : プリント・ノートを確認・理解		馬場	
11	客室乗務員の業務 (Cabin Attendant) ② 国際線客室乗務員の役割と具体的業務について学びます。			事前学修 (90分) : 国際線客室乗務員の業務を調べておく 事後学修 (90分) : プリント・ノートを確認・理解		馬場	
12	国際文化・慣習 様々な外国人客に接する上で基本的な国際文化・慣習等について理解を深めます。			事前学修 (90分) : 国際文化・慣習を調べておく 事後学修 (90分) : プリント・ノートを確認・理解		馬場	
13	世界の食文化と機内食 機内食の特徴と制約を学び、特別食を通じて国際慣習を学びます。			事前学修 (90分) : 機内食を調べておく 事後学修 (90分) : プリント・ノートを確認・理解		馬場	
14	LCCの特徴とサービス 格安航空会社の事業特性、サービス特性を学びます。			事前学修 (90分) : LCCについて調べておく 事後学修 (90分) : プリント・ノートを確認・理解		馬場	
15	まとめ 今までの総まとめを行います。			事前学修 (90分) : 今までのまとめをしておく 事後学修 (90分) : プリント・ノートを確認・理解		馬場	
成績評価の方法と基準 授業貢献度10%、毎授業後のコメント票10%、試験80%の要素を総合的に評価します。							

履修上の留意点	ニュースや新聞等で、常日頃から、航空関係・サービスのあり方・国際関係に意識して動向を理解していく習慣をつけることを勧めます。
ディプロマ・ポリシーとの関連	本科目は、サービス経営学部ディプロマ・ポリシーの(1)、(2)に関連しています。
教科書	使用しません。
参考書・参考資料	稲本恵子編 晃洋書房 「エアライン・ビジネス入門」(第2版) 2021年
学生との連絡方法	AAAを使用します。
実務経験科目	実務経験科目に該当する。航空会社に勤務。空港旅客業務や本社経営企画を担当。実務経験をもとにエアライン・サービスの特性について理論と実践の融合を図っている。

授業形態	開講学部	サービス経営学部		選択	2単位	講義	
	3年次	開講期	後期	ディスカッション	無	学外授業	無
授業科目（英名）	エアライン・ビジネス論（Airline business）						
担当教員名	馬場 哲也 (◎は科目責任者)						
<p>[授業の概要] エアライン産業に関わる基本的な知識、ビジネス特性、ビジネス環境の実務知識を習得し、更には公共交通機関としての使命も理解します。また、航空を通して国際文化とは何かを把握します。</p> <p>[科目の位置付け（全学年を通しての関連科目）] この科目は、本学部のカリキュラム・ポリシー(3)、すなわち、ホスピタリティ・ツーリズムコースの実践的で柔軟な専門性を修得する科目として位置づけられます。 エアライン業界の基本的な概念を理解し、業界の特性、動向等を理解すると共に、エアラインビジネスに関する知識を深め、国際文化についても理解を深めます。</p> <p>[到達目標] (1) エアラインビジネスの基本的な知識を修得する。 (2) エアラインビジネスについて適切な手段によって適切に表現することができる。 (3) エアラインビジネスの事象の考察や実践に積極的に活用しようとする。 (4) エアラインビジネスの課題を発見し、問題を解決する能力等の思考力を身につける。</p>							
回	授業計画			授業外学修 (事前学修・事後学修)		担当者	
1	オリエンテーション、シラバスの説明 授業内容と進め方を説明します。エアラインの役割を理解します。			事前学修(90分)：教科書の「はしがき」「第1章」を読んでおく 事後学修(90分)：プリント・ノートを確認・理解		馬場	
2	日本のエアラインの分類 日本における主要エアラインの事業領域と特性を理解します。			事前学修(90分)：エアラインの分類を調べておく 事後学修(90分)：プリント・ノートを確認・理解		馬場	
3	エアラインのサービス概観 国内線、国際線それぞれのクラス別仕様とサービスの特徴を学び、航空運賃との関連を理解します。			事前学修(90分)：エアラインのサービスを調べておく 事後学修(90分)：プリント・ノートを確認・理解		馬場	
4	空港の旅客動線と業務 空港における旅客の搭乗手続きと空港職員の役割、具体的業務を学びます。			事前学修(90分)：空港の旅客動線を調べておく 事後学修(90分)：プリント・ノートを確認・理解		馬場	
5	空港設置における環境条件 空港を設置できる環境条件、空港施設の機能と役割を学びます。			事前学修(90分)：空港の機能を調べておく 事後学修(90分)：プリント・ノートを確認・理解		馬場	
6	航空運賃と空港使用料 種々の空港使用料と航空運賃との関連について学びます。			事前学修(90分)：航空運賃の種類を調べておく 事後学修(90分)：プリント・ノートを確認・理解		馬場	
7	旅客機の特性と空域、空路 旅客機の特性と日本における空域制限等について学びます。			事前学修(90分)：旅客機について調べておく 事後学修(90分)：プリント・ノートを確認・理解		馬場	
8	まとめ 前半のまとめを行います。			事前学修(90分)：今までのまとめをしておく 事後学修(90分)：プリント・ノートを確認・理解		馬場	
9	客室乗務員の業務(Cabin Attendant)①と演習 客室乗務員の基本的使命・役割と具体的業務について学びます。			事前学修(90分)：Cabin Attendantの業務を調べておく 事後学修(90分)：プリント・ノートを確認・理解		馬場	
10	客室乗務員の業務(Cabin Attendant)②と演習 国際線客室乗務員の具体的業務の一部演習を行います。			事前学修(90分)：国際線Cabin Attendantの業務を調べておく 事後学修(90分)：プリント・ノートを確認・理解		馬場	
11	交通機関としてのエアラインの特性 交通機関としての航空運送の特殊性について学びます。			事前学修(90分)：航空の特性を調べておく 事後学修(90分)：プリント・ノートを確認・理解		馬場	
12	航空産業の特性 航空産業の事業リスク、イベントリスク等について学びます。			事前学修(90分)：航空産業の特性を調べておく 事後学修(90分)：プリント・ノートを確認・理解		馬場	
13	国際文化・慣習と機内食 機内食の特殊性、特別食から見る国際慣習への理解を深めます。			事前学修(90分)：国際文化・慣習を調べておく 事後学修(90分)：プリント・ノートを確認・理解		馬場	
14	大手航空とLCC 格安航空会社と大手航空会社のビジネスモデルの特徴を分析します。			事前学修(90分)：LCCについて調べておく 事後学修(90分)：プリント・ノートを確認・理解		馬場	
15	まとめ これまでの総まとめを行います。			事前学修(90分)：今までのまとめをしておく 事後学修(90分)：プリント・ノートを確認・理解		馬場	

成績評価の方法と基準	授業貢献度10%、毎授業後のコメント票10%、試験80%の要素を総合的に評価します。
履修上の留意点	ニュースや新聞等で、常日頃から、航空関係・サービスのあり方・国際関係に意識して動向を理解していく習慣をつけることを勧めます。
ディプロマ・ポリシーとの関連	本科目は、サービス経営学部ディプロマ・ポリシーの(1)、(2)、(3)、(4)と関連しています。特に(4)との関連が高い科目です。
教科書	稲本恵子編 晃洋書房 「エアライン・ビジネス入門」(第2版)2021年
参考書・参考資料	
学生との連絡方法	AAAを使用します。
実務経験科目	実務経験科目に該当する。航空会社に勤務。空港旅客業務や本社経営企画を担当。実務経験をもとにエアライン・ビジネスの特性について理論と実践の融合を図っている。

授業形態	開講学部	サービス経営学部		選択	2単位	講義	
	2年次	開講期	後期	ディスカッション	無	学外授業	無
授業科目 (英名)	ホテル・旅館経営論 (Hotel and Ryokan Japanese Inn Management)						
担当教員名	馬場 哲也 (◎は科目責任者)						
[授業の概要] 「ホテル業」の歴史、海外・国内の主要ホテルの特徴や経営運営を理解し、また日本独特の「旅館業」の経営運営を考察することにより「宿泊産業」の経営の全体像を把握し知識を深めます。							
[科目の位置付け (全学年を通しての関連科目)] この科目は、本学部のカリキュラム・ポリシー(3)、すなわち、ホスピタリティ・ツーリズムコースの実践的で柔軟な専門性を修得する科目として位置づけられます。 「ホテル業」と「旅館業」は「宿泊産業」の両輪として観光業と密接に関連して重要な位置を占めています。ホテルと旅館の経営について知識を習得します。							
[到達目標] (1) ホテル・旅館の経営について基本的な知識を修得する。 (2) ホテル・旅館の経営について適切な手段によって適切に表現することができる。 (3) ホテル・旅館の経営事象の考察や実践に積極的に活用しようとする。							
回	授業計画			授業外学修 (事前学修・事後学修)		担当者	
1	オリエンテーション、シラバス説明 授業の内容と進め方を説明します。国内宿泊産業の動向を概観します。			事前学修 (90分) : 行ったことのあるホテルを具体的に考えてみる 事後学修 (90分) : プリント・ノートを確認・理解		馬場	
2	ホテルの施設・機能 ホテルの施設や機能の特徴について学びます。			事前学修 (90分) : ホテルにどのような施設があるのか調べておく 事後学修 (90分) : プリント・ノートを確認・理解		馬場	
3	ホテルの職種 外資系ホテル ホテルスタッフの職種と外資系ホテルの定義について学びます。			事前学修 (90分) : ホテルの職種を調べておく 事後学修 (90分) : プリント・ノートを確認・理解		馬場	
4	宿泊業の特徴 ホテルのカテゴリー分類、系列について学びます。			事前学修 (90分) : ホテルのカテゴリー分類を調べておく 事後学修 (90分) : プリント・ノートを確認・理解		馬場	
5	旅館経営・運営の実例 (リゾート) リゾートにおける経営・運営の実態と事業再生について学びます。			事前学修 (90分) : リゾートホテルの経営現状を調べておく 事後学修 (90分) : プリント・ノートを確認・理解		馬場	
6	経営・運営の実例 (シティホテル) シティホテルにおける経営・運営の実態と事業再生について学びます。			事前学修 (90分) : シティホテルの経営現状を調べておく 事後学修 (90分) : プリント・ノートを確認・理解		馬場	
7	旅館業の概要 ホテル業と旅館業のビジネスモデルの差異、特徴を理解します。			事前学修 (90分) : ホテルと旅館の違いを調べておく 事後学修 (90分) : プリント・ノートを確認・理解		馬場	
8	中間のまとめ これまでのまとめを行います。			事前学修 (90分) : 今までのまとめをしておく 事後学修 (90分) : プリント・ノートを確認・理解		馬場	
9	旅館・温泉の概観 旅館業に関連の強い温泉について、温泉の定義、分類を学びます。			事前学修 (90分) : 温泉旅館について調べておく 事後学修 (90分) : プリント・ノートを確認・理解		馬場	
10	宿泊業全体の概観 ホテル・旅館以外の宿泊業にも焦点を当て宿泊業全体を概観します。			事前学修 (90分) : ホテルと旅館以外の宿泊業を調べておく 事後学修 (90分) : プリント・ノートを確認・理解		馬場	
11	宿泊業の法律・規制・DX 宿泊業にまつわる法制度、近年のDXについて学びます。			事前学修 (90分) : 宿泊業の法律について調べておく 事後学修 (90分) : プリント・ノートを確認・理解		馬場	
12	宿泊業の許認可 宿泊業の新設に関わる許認可について学びます。			事前学修 (90分) : 宿泊業の許認可について調べておく 事後学修 (90分) : プリント・ノートを確認・理解		馬場	
13	ホテル・旅館の格付け評価 世界のホテルの星・格付けの制度と実態について学びます。			事前学修 (90分) : ホテルの格付けを調べておく 事後学修 (90分) : プリント・ノートを確認・理解		馬場	
14	ホテル・伝説のサービス 老舗ホテルから発祥した伝説的サービスについて学びます。			事前学修 (90分) : 伝説のサービスを調べておく 事後学修 (90分) : プリント・ノートを確認・理解		馬場	
15	まとめ これまでの総まとめを行います。			事前学修 (90分) : 今までのまとめをしておく 事後学修 (90分) : プリント・ノートを確認・理解		馬場	
成績評価の方法と基準 授業貢献度10%、毎授業後のコメント票10%、試験80%の要素を総合的に評価します。							

履修上の留意点	ニュースや新聞等で、常日頃から、航空関係・サービスのあり方・国際関係に意識して動向を理解していく習慣をつけることをお勧めします。
ディプロマ・ポリシーとの関連	本科目は、サービス経営学部ディプロマ・ポリシーの(1)と(2)と(3)と関連しています。特に(1)との関連が高い科目です。
教科書	使用しません。
参考書・参考資料	土井久太郎著『よくわかるホテル業界』日本実業出版社2009年
学生との連絡方法	AAAを使用します。
実務経験科目	実務経験科目に該当する。航空会社ホテル事業部長およびホテル会社執行役員を経験。実務経験をもとにホテル運営・ホテル経営について理論と実践の融合を図っている。

授業形態	開講学部	サービス経営学部	選択	2単位	講義		
	2年次	開講期	前期	ディスカッション	無	学外授業	無
授業科目 (英名)	ホテル・フードサービス論 (Lodging and Food Service Industry)						
担当教員名	馬場 哲也						(◎は科目責任者)
[授業の概要] ホテル産業に関わる基本的な知識の習得、フードサービスの実務知識を習得します。							
[科目の位置付け (全学年を通しての関連科目)] この科目は、本学部のカリキュラム・ポリシー (3)、すなわち、ホスピタリティ・ツーリズムコースの実践的で柔軟な専門性を修得する科目として位置づけられます。ホテル経営、レストラン経営の特徴を理解し、ホテルの重要な機能でもあるフードサービスの知識を学び、基本的な仕組みを修得します。							
[到達目標] (1) ホテルおよびフードサービスの経営形態、社会的機能、使命、人材育成、サービス基準・評価等の特徴を説明できる。 (2) ホテルにおける運営上の課題、人材資源、およびフードサービスにおける食文化の特徴を整理・分析し、適切に表現することができる。 (3) ホテルおよびフードサービス経営の観点から、とりわけ利用者側の視点に立ってサービス品質・事象を考察し問題解決策を検討することができる。							
回	授業計画	授業外学修 (事前学修・事後学修)		担当者			
1	オリエンテーション、シラバス説明 授業の内容と進め方を説明します。有名ホテルを概観します。	事前学修 (90分) : 行ったことのあるホテルを具体的に考え出しておく 事後学修 (90分) : プリント・ノートを確認・理解		馬場			
2	ホテル概観 ホテルの使命 老舗ホテルの創業の使命と特徴を理解します。	事前学修 (90分) : ホテルの使命にはどのようなものがあるか調べておく 事後学修 (90分) : プリント・ノートを確認・理解		馬場			
3	ホテルの機能 ホテル組織 黎明期のホテルの特徴を学び、ホテルのタイプ別分類を学びます。	事前学修 (90分) : ホテルの機能にはどのようなものがあるか調べておく 事後学修 (90分) : プリント・ノートを確認・理解		馬場			
4	ホテルの人材 ホテルのさまざまな職種の具体的業務を学びます。	事前学修 (90分) : ホテルにはどのような人材がいるのかを調べておく 事後学修 (90分) : プリント・ノートを確認・理解		馬場			
5	ホテルの分類 ホテルの経営と運営の区別分類と外資系ホテルのビジネスモデルについて学びます。	事前学修 (90分) : ホテルにはどのような分類があるのかを調べておく 事後学修 (90分) : プリント・ノートを確認・理解		馬場			
6	外資系ホテル ホテルブライダル 外資系ホテルのサービスの考え方の事例と日本のホテルにおけるブライダル事例を学びます。	事前学修 (90分) : 外資系ホテルにはどのようなホテルがあるのか調べておく 事後学修 (90分) : プリント・ノートを確認・理解		馬場			
7	ホテル経営形態 ホテル経営の主要指標の理論と応用を学びます。	事前学修 (90分) : ホテルの経営にはどのような形態があるのか調べておく 事後学修 (90分) : プリント・ノートを確認・理解		馬場			
8	中間のまとめ 中間のまとめを行います。	事前学修 (90分) : 今までのまとめをしておく 事後学修 (90分) : プリント・ノートを確認・理解		馬場			
9	レストランの種類 レストランにおける利用者の評価形態や世界の食について学びます。	事前学修 (90分) : レストランにはどのような種類があるのか調べておく 事後学修 (90分) : プリント・ノートを確認・理解		馬場			
10	和食の理解 和食文化の基本と特徴を学びます。	事前学修 (90分) : 和食の特徴を調べておく 事後学修 (90分) : プリント・ノートを確認・理解		馬場			
11	和食コース 文化 マナー 和食のコース内容、食文化、マナーについて学びます。	事前学修 (90分) : 和食のコースについて調べておく 事後学修 (90分) : プリント・ノートを確認・理解		馬場			
12	中華料理 文化 中国4大料理の特徴とマナーについて学びます。	事前学修 (90分) : 中華料理について調べておく 事後学修 (90分) : プリント・ノートを確認・理解		馬場			
13	フランス コース料理 文化 フレンチコース内容、食文化、マナーについて学びます。	事前学修 (90分) : フランス料理について調べておく 事後学修 (90分) : プリント・ノートを確認・理解		馬場			
14	フードサービス プロフェッショナルの実例 超一流のサービスについて事例を学びます。	事前学修 (90分) : フードサービス全体についてまとめておく 事後学修 (90分) : プリント・ノートを確認・理解		馬場			

15	総まとめ これまでの総まとめを行います。	事前学修（90分）：全体をまとめておく 事後学修（90分）：プリント・ノートを確認・理解	馬場
成績評価の方法と基準	授業貢献度10%、毎授業後のコメント票10%、試験80%の要素を総合的に評価します。		
履修上の留意点	ニュースや新聞等で、常日頃から、ホテルやフードサービスのあり方を意識して動向を理解していく習慣をつけることをお勧めします。		
ディプロマ・ポリシーとの関連	本科目は、サービス経営学部ディプロマ・ポリシーの（1）～（3）と関連しています。		
教科書	使用しません。		
参考書・参考資料	日本ホテル教育センター「ホテルビジネス（基礎編）」2014年 土井久太郎著「よくわかるホテル業界」日本実業出版社2009年		
学生との連絡方法	AAAを活用します。		
実務経験科目	実務経験科目に該当する。航空会社ホテル事業部長およびホテル会社執行役員を経験。実務経験をもとにホテル・フードサービスについて理論と実践の融合を図っている。		

授業形態	開講学部	サービス経営学部		選択	2単位	講義	
	2年次	開講期	後期	ディスカッション	無	学外授業	無
授業科目 (英名)	ホテル・フード実務論 (Practice in Hotel and Food Service)						
担当教員名	馬場 哲也 (◎は科目責任者)						
[授業の概要] 本講義は、サービスの定義、ホテル関連部門の業務、宿泊業の現状などを学修し、ホテルを始めとするサービス業の実務やマネジメントの基礎の理解を深めることを目標とします。							
[科目の位置付け (全学年を通しての関連科目)] この科目は、本学部のカリキュラム・ポリシー(3)、すなわち、ホスピタリティ・ツーリズムコースの実践的で柔軟な専門性を修得する科目として位置づけられます。本講義では、サービス経営の基盤となるホテルや料飲部門の実務の基本および付加価値を高めるサービスの意義を学び、今後の専門科目を履修するうえで必要な基礎知識を身につけます。							
[到達目標] (1) ホテルや関連部門の業務を具体的、かつ体系的に理解し、説明することができる。 (2) ホテルやフードサービスにおける、質の高いサービスを提供するための思考力、判断力、コミュニケーション力を修得し、説明することができる。							
回	授業計画			授業外学修 (事前学修・事後学修)		担当者	
1	オリエンテーション、シラバス説明 授業内容、進め方を説明します。有名ホテルを概観します。			事前学修 (90分) : ホテルの仕事内容をイメージしてみる。 事後学修 (90分) : プリント・ノートを確認・理解		馬場	
2	ホテルの業務の理解 ホテルの歴史 ホテルの定義 ホテルの起源と発展、ホテルの定義について学びます。			事前学修 (90分) : 歴史的ホテルにはどのようなものがあるか調べておく 事後学修 (90分) : プリント・ノートを確認・理解		馬場	
3	ホテル業の特徴 ホテル業に独特のビジネス特徴について理解します。			事前学修 (90分) : ホテル業の現状を調べておく 事後学修 (90分) : プリント・ノートを確認・理解		馬場	
4	ホテルの実務1 ホテルの部門と基本業務 ホテルの各部門の具体的業務について学びます。			事前学修 (90分) : ホテルの基本業務を調べておく 事後学修 (90分) : プリント・ノートを確認・理解		馬場	
5	ホテルの実務2 宿泊部門 ホテル宿泊部門の経営・運営指標について理論と応用を学びます。			事前学修 (90分) : ホテル宿泊部門の業務を調べておく 事後学修 (90分) : プリント・ノートを確認・理解		馬場	
6	ホテルの実務3 料飲部門 ホテル料飲部門の経営・運営指標について理論と応用を学びます。			事前学修 (90分) : ホテルの料飲部門の業務を調べておく 事後学修 (90分) : プリント・ノートを確認・理解		馬場	
7	ホテルの実務4 宴会部門ほか ホテル宴会部門の具体的業務について学びます。			事前学修 (90分) : ホテルの宴会業務を調べておく 事後学修 (90分) : プリント・ノートを確認・理解		馬場	
8	中間のまとめ これまでのまとめを行います。			事前学修 (90分) : 今までのまとめをしておく 事後学修 (90分) : プリント・ノートを確認・理解		馬場	
9	和食の理解 和食の基本概念とそれにまつわる歴史、年中行事との関連などを学びます。			事前学修 (90分) : 和食の特徴を調べておく 事後学修 (90分) : プリント・ノートを確認・理解		馬場	
10	和食 コース 文化 マナー 和食コース内容とそれにまつわる食文化、マナーを学びます。			事前学修 (90分) : 和食コース料理を調べておく 事後学修 (90分) : プリント・ノートを確認・理解		馬場	
11	中華料理 コース 文化 中国4大料理とサービス方式、マナーについて学びます。			事前学修 (90分) : 中華コース料理を調べておく 事後学修 (90分) : プリント・ノートを確認・理解		馬場	
12	フレンチ コース フレンチコース料理内容について理解を深めます。			事前学修 (90分) : フランス料理を調べておく 事後学修 (90分) : プリント・ノートを確認・理解		馬場	
13	フレンチ コース 文化 マナー フレンチにまつわる食文化、マナーについて学びます。			事前学修 (90分) : フレンチコース料理を調べておく 事後学修 (90分) : プリント・ノートを確認・理解		馬場	
14	イタリアンと主要各国代表料理 イタリアンと主要各国代表料理を通じて世界の食文化への理解を深めます。			事前学修 (90分) : 今までのまとめをしておく 事後学修 (90分) : プリント・ノートを確認・理解		馬場	
15	総まとめ これまでの総まとめを行います。			事前学修 (90分) : 今までの総まとめをしておく 事後学修 (90分) : プリント・ノートを確認・理解		馬場	
成績評価の方法と基準 授業貢献度10%、毎授業後のコメント票10%、試験80%の要素を総合的に評価します。							
履修上の留意点 ・前期「ホテル・フードサービス論」を履修していることが望ましい。 ・ニュースや新聞等で、常日頃から、ホテルやフードサービスのあり方を意識して動向を理解していく習慣をつけるとうれしいです。							

ディプロマ・ポリシーとの関連	本科目は、サービス経営学部ディプロマ・ポリシーの(1)と(2)と(3)と関連しています。
教科書	使用しません。
参考書・参考資料	日本ホテル教育センター『新ホテル総論』、日本ホテル教育センター、2015 日本ホテル教育センター『レストラン業務の基礎』、日本ホテル教育センター、2018 日本ホテル教育センター『テーブルマナーの基本』、日本ホテル教育センター、2006
学生との連絡方法	AAAを使用します。
実務経験科目	実務経験科目に該当する。航空会社ホテル事業部長およびホテル会社執行役員を経験。実務経験をもとにホテル・フード実務について理論と実践の融合を図っている。

授業形態	開講学部	サービス経営学部	選択	2単位	講義		
	3年次	開講期	前期	ディスカッション	無	学外授業	無
授業科目 (英名)	MICEビジネス論 (MICE Business)						
担当教員名	馬場 哲也						(◎は科目責任者)
[授業の概要] MICEについて正確な知識を習得するとともに、企画から実施に至るMICE関連産業の組み合わせ、日本におけるインバウンド政策とMICEの関係を理解する。							
[科目の位置付け (全学年を通しての関連科目)] この科目は、本学部のカリキュラム・ポリシー (3)、すなわち、ホスピタリティ・ツーリズムコースの実践的で柔軟な専門性を修得する科目として位置づけられます。 MICEとは、M (meeting)、I (Incentive)、C (Convention)、E (Event/Exhibition) の要素から成り、政府は2008年観光庁を設立し本格的にMICEの推進を開始した。本講座は、展示会、国際会議、博覧会、スポーツ・文化イベントなどの多彩なMICEの領域を、その歴史や概念から関連産業分野まで幅広く学習する。							
[到達目標] (1) MICEビジネスの基本的な内容とIR(Integrated Resort)を説明することができる。観光におけるインバウンドとプロモーションの視点から、MICEの重要性や機能、波及効果、IRを説明することができる。 (2) 日本におけるMICEの現状と課題について、インバウンドとプロモーションを含めて、明確に説明することができる。							
回	授業計画			授業外学修 (事前学修・事後学修)		担当者	
1	オリエンテーション、シラバス説明 授業の内容、進め方を説明します。MICEとは何かという観点からMICEの各項目を概観します。			事前学修 (90分) : MICEとは何か、その意味・意義は何か等、を調べておく。 事後学修 (90分) : プリント・ノートを確認・理解			
2	イベント・コンベンションの歴史、MICEの意義 イベント・コンベンションの歴史を学び、MICEはどのような意義があるのかを学びます。			事前学修 (90分) : 2021年東京オリンピックの開催に至る経緯を調べておく 事後学修 (90分) : プリント・ノートを確認・理解			
3	世界のMICE施設 世界のMICE施設はどのような構成・機能になっているのかを学びます。			事前学修 (90分) : イベント・コンベンションの開催場所となるリゾートホテルの施設等を調べておく 事後学修 (90分) : プリント・ノートを確認・理解			
4	日本の観光政策とMICE 観光立国、インバウンドに関する政府目標の内容とMICEの関わりを理解します。			事前学修 (90分) : 訪日外国人に関する日本の観光政策を調べておく 事後学修 (90分) : プリント・ノートを確認・理解			
5	ミーティングの運営実務 ミーティングのプログラムやコストの実例について学びます。			事前学修 (90分) : ホテル等でのミーティング費用等を調べておく 事後学修 (90分) : プリント・ノートを確認・理解			
6	オリンピック効果、コンベンション誘致施策 MICEの主要イベントであるオリンピックの間接的・直接的効果を学びます。			事前学修 (90分) : MICE施設にはどのような施設・企画が必要か調べておく 事後学修 (90分) : プリント・ノートを確認・理解			
7	MICEがもたらす経済効果 国際会議誘致の経済効果と課題について学びます。			事前学修 (90分) : MICEの経済効果とはどのようなものかを調べておく 事後学修 (90分) : プリント・ノートを確認・理解			
8	中間のまとめ 前半のまとめを行います。			事前学修 (90分) : 今までのまとめをしておく 事後学修 (90分) : プリント・ノートを確認・理解			
9	コンベンション1 一般観光とMICEとの差異につき分析します。			事前学修 (90分) : コンベンションのプロモーション事例を調べておく 事後学修 (90分) : プリント・ノートを確認・理解			
10	コンベンション2 サミット開催による経済効果と課題について学びます。			事前学修 (90分) : コンベンションが一般観光とどう異なるかを調べておく 事後学修 (90分) : プリント・ノートを確認・理解			
11	インセンティブツアー企画・運営 インセンティブ・ツアーを実例に基づきプランニングします。			事前学修 (90分) : インセンティブツアーとは何かを調べておく 事後学修 (90分) : プリント・ノートを確認・理解			
12	観光競争力について 観光開発指標における日本の立ち位置を分析します。			事前学修 (90分) : 観光競争力の定義を調べておく 事後学修 (90分) : プリント・ノートを確認・理解			
13	IR(Integrated Resort)について IRの目的と施設要件、カジノ設置問題等を学びます。			事前学修 (90分) : カジノについて日本での法案検討状況を調べておく 事後学修 (90分) : プリント・ノートを確認・理解			

14	東京オリンピックとMICE 1964年と2021年の2度の東京オリンピックを通じて、その意義を学びます。	事前学修(90分)：1964年の東京オリンピックについて調べておく 事後学修(90分)：プリント・ノートを確認・理解	
15	総まとめ これまでの総まとめを行います。	事前学修(90分)：今までのまとめをしておく 事後学修(90分)：プリント・ノートを確認・理解	
成績評価の方法と基準	授業貢献度10%、毎授業後のコメント票10%、試験80%の要素を総合的に評価します。		
履修上の留意点	展示会、文化イベント、見本市などに足を運び、実際の場면을体験してください。		
ディプロマ・ポリシーとの関連	本科目は、サービス経営学部ディプロマ・ポリシーの(1)、(2)に関連しています。		
教科書	使用しません。		
参考書・参考資料	「イベント&コンベンション概論」 JTB総合研究所第2版 2010年		
学生との連絡方法	AAAを活用します。		
実務経験科目	実務経験科目に該当する。航空会社ホテル事業部長およびホテル会社執行役員を経験。実務経験をもとに展覧会、国際会議、博覧会、スポーツ、文化イベントなどの多彩なMICE領域について理論と実践の融合を図っている。		

授業形態	開講学部	サービス経営学部	選択	2単位	講義・演習	
	3年次	開講期 前期	ディスカッション	有	学外授業	無
授業科目 (英名)	コンシェルジュ論 (Concierge)					
担当教員名	富樫 文予 (◎は科目責任者)					
<p>[授業の概要] 「接客サービスの最高のプロフェッショナル」と称されるフランス発祥のコンシェルジュの歴史・実態を学び、ホテルの枠組みを超えて多種多様な企業産業に配置されている現代日本のホスピタリティ産業の分析をすることで、日本ならではのおもてなしという視点を持ってホスピタリティとは何かを考察します。その学び・考察を基に、課題レポート、プレゼンテーションによる表現を試みます。</p> <p>[科目の位置付け (全学年を通しての関連科目)] この科目は、本学部のカリキュラム・ポリシー (3)、すなわち、ホスピタリティ・ツーリズムコースの実績的で柔軟な専門性を修得する科目として位置付けられます。本学の必須科目である「対人関係基礎・応用演習」を基に、ホスピタリティ産業全般にわたる顧客満足を目指すとしたコミュニケーションについて考え、その最たるコンシェルジュという職種について考察します。元来ホテル特有のサービスであったコンシェルジュが、今や航空、客船、デパート、電鉄、銀行、不動産、保険などの企業産業に進出している背景を学びます。それは取りも直さず、現代日本の産業に求められているサービスとは何かを考えることに他ならないのです。</p> <p>[到達目標] (1) 「コンシェルジュ」の歴史・背景及び、そのプロフェッショナルリズムを理解する。ホスピタリティ産業に全般おける顧客満足を目的としたコミュニケーション力の重要性と方法論を理解する。 (2) 課題に対し、調査・分析および、独自のレポート作成・プレゼンテーションすることができる。</p>						
回	授業計画	授業外学修 (事前学修・事後学修)		担当者		
1	オリエンテーション、ホテルの概要 —ホテルのハード・ソフト・ヒューマン	事前学修 (90分) : ホテルコンシェルジュに関連する資料・記事を読む 事後学修 (90分) : ホテルの概要及びホテルコンシェルジュについて復習・理解		富樫		
2	サービス理論の整理と復習-サービスとホスピタリティ * サービスとホスピタリティに関する討議	事前学修 (90分) : サービスとホスピタリティの違いを調べる 事後学修 (90分) : サービス理論 (サービスとホスピタリティ) について復習・理解		富樫		
3	コンシェルジュの仕事① 現役コンシェルジュの実例 —動画視聴と討議 * サービス体験の共有発表 (1分間スピーチ/15~20名)	事前学修 (90分) : サービス体験発表準備、コンシェルジュの仕事について調べる 事後学修 (90分) : コンシェルジュの仕事についての課題レポートをユニブループより提出		富樫		
4	コンシェルジュの歴史 —レ・クレドールについて、その歴史・組織・運営システム * サービス体験の共有発表 (1分間スピーチ/15~20名)	事前学修 (90分) : サービス体験発表準備、レ・クレドールの組織について調べる 事後学修 (90分) : コンシェルジュの歴史・レ・クレドールについて復習・理解		富樫		
5	コンシェルジュの資質 —コンシェルジュのバイブル「LE HALL (1945年) ~現代 (心の準備、知識・常識) * サービス体験の共有発表 (1分間スピーチ/15~20名)	事前学修 (90分) : サービス体験発表準備、コンシェルジュに必要な資質について調べる 事後学修 (90分) : コンシェルジュの資質についての復習・理解		富樫		
6	コンプレイン・クレーム、ストレス対策 —苦情とは/グッドマンの法則、苦情のメカニズムと苦情対応・ストレス対応	事前学修 (90分) : コンプレインとクレームの違いについて調べる 事後学修 (90分) : コンプレインとクレーム、ストレス対策についての復習・理解		富樫		
7	コンシェルジュの広がり —女将と旅館・日本のおもてなし	事前学修 (90分) : 旅館のおもてなしについて調べる 事後学修 (90分) : 日本ならではのおもてなし、コンシェルジュの広がりについて、復習・理解		富樫		
8	中間のまとめ (第1~7回の理解度確認テスト)	事前学修 (90分) : 第1~7回の総復習・理解 事後学修 (90分) : 中間のまとめ課題を提出		富樫		
9	コンシェルジュの仕事② 演習 (第12・13・14回) オリエンテーション 「コンシェルジュ体験 (ケーススタディ)」 学生がホテルコンシェルジュとなりゲスト (教員) 対応を行う、学生各々に事前割り当てられた異なるケースを対応する 学生に割り当てられる60のケースの解説	事前学修 (90分) : コンシェルジュの仕事の各ケースについて事前に調べる 事後学修 (90分) : 演習ケースの下調べをする		富樫		
10	ホテルとコンシェルジュ —同僚・マネジメント・ホテル外の人脈	事前学修 (90分) : ホテル内外のコンシェルジュの人脈について調べる 事後学修 (90分) : ホテル内外のコンシェルジュの人脈の復習・理解		富樫		
11	コンシェルジュの仕事③ 欧米のコンシェルジュ —動画視聴と振り返り	事前学修 (90分) : 欧米のコンシェルジュの仕事について調べる 事後学修 (90分) : 欧米のコンシェルジュの仕事について復習・理解		富樫		

12	(演習) コンシェルジュ体験 学生がホテルコンシェルジュとなりゲスト(教員)対応を行う No. 1~No. 20 の15~20ケース(15~20名)、他の学生は、評価を行う	事前学修(90分): 演習課題準備 事後学修(90分): 演習後評価作成、AAAより提出	富樫
13	(演習) コンシェルジュ体験 学生がホテルコンシェルジュとなりゲスト(教員)対応を行う No. 21~No. 40 の15~20ケース(15~20名)、他の学生は、評価を行う	事前学修(90分): 演習課題準備 事後学修(90分): 演習後評価作成、AAAより提出	富樫
14	(演習) コンシェルジュ体験 学生がホテルコンシェルジュとなりゲスト(教員)対応を行う No. 41~No. 60 の15~20ケース(15~20名)、他の学生は、評価を行う	事前学修(90分): 演習課題準備 事後学修(90分): 演習後評価作成、AAAより提出	富樫
15	サービスとチップ、日本のおもてなしと茶道精神	事前学修(90分): 茶道のおもてなし精神について調べる 事後学修(90分): サービスとチップ、茶道のおもてなし精神についての復習・理解	富樫
成績評価の方法と基準	授業参画・フィードバックシート(15%)、課題・試験(40%)、演習(45%)		
履修上の留意点	コンシェルジュの出発点となったホテル(宿泊部門)の基本事項を復習しておく必要があります。		
ディプロマ・ポリシーとの関連	本学部のカリキュラム・ポリシー(1)、(2)と関連しています。特に(1)との関連度が高い科目です。		
教科書	なし、適宜資料配付		
参考書・参考資料	池田里香子著『Le Hall 読み継がれるコンシェルジュのバイブル』オータパブリケーション(2009年) 阿部佳著『「お客様の気持ちを読みとく仕事 コンシェルジュ」秀和システム(2015年)』		
学生との連絡方法	AAA、メール、オフィスアワー		
実務経験科目	実務経験科目に該当する。株式会社帝国ホテルに勤務。ホテル統括マーケティング部門・宿泊部門を担当。ゲストリレーションズ支配人などの経験をもとに、ホテルのホスピタリティやそれを支える組織や人材について理論と実践の融合を図っている。		

授業形態	開講学部	サービス経営学部	選択	2単位	講義	
	2年次	開講期 前期	ディスカッション	無	学外授業	無
授業科目 (英名)	ホテル・フードサービス論 (Lodging and Food Service Industry)					
担当教員名	富樫 文予 (◎は科目責任者)					
[授業の概要] ホテル産業に関わる基本的な知識の習得、フードサービスの実務知識を習得します。						
[科目の位置付け (全学年を通しての関連科目)] この科目は、本学部のカリキュラム・ポリシー(3)、すなわち、ホスピタリティ・ツーリズムコースの実践的で柔軟な専門性を修得する科目として位置づけられます。ホテル経営、レストラン経営の特徴を理解し、ホテルの重要な機能でもあるフードサービスの知識を学び、基本的な仕組みを修得します。						
[到達目標] (1) ホテルおよびフードサービスの経営形態、社会的機能、使命、人材育成、サービス基準・評価等の特徴を説明できる。 (2) ホテルにおける運営上の課題、人材資源、およびフードサービスにおける食文化の特徴を整理・分析し、適切に表現することができる。 (3) ホテルおよびフードサービス経営の観点から、とりわけ利用者側の視点に立ってサービス品質・事象を考察し問題解決策を検討することができる。						
回	授業計画	授業外学修 (事前学修・事後学修)			担当者	
1	オリエンテーション、 ・シラバス説明-15回の授業概要、注意事項等を説明 ・日本のホテルの成り立ちとホスピタリティ	事前学修 (90分) : 行ったことのあるホテルを具体的に考え出しておく 事後学修 (90分) : 行ったことのあるホテルのホームページを熟読する			富樫	
2	ホテル概観 ホテルの使命 ・日本の観光業の概要 ・ホテルの「ハード」「ソフト」「ヒューマン」とは ・「サービス」と「ホスピタリティ」の違いとは	事前学修 (90分) : ホテルの使命にはどのようなものがあるか調べておく 事後学修 (90分) : ホテルの使命について確認・理解			富樫	
3	ホテルの機能 ホテル組織 ・ホテルの3大商品とその他の機能 ・ホテルの利用者とその目的 ・ホテルの組織、外資系と日系ホテルの違い	事前学修 (90分) : ホテルの機能にはどのようなものがあるか調べておく 事後学修 (90分) : ホテルの機能について確認・理解			富樫	
4	ホテルの人材 ・「労働集約型産業」としてのホテル ・営業部門の仕事と職種 ・管理部門の仕事と職種	事前学修 (90分) : ホテルにはどのような人材がいるのかを調べておく 事後学修 (90分) : ホテルの人材について確認・理解			富樫	
5	ホテルの分類 ・欧米のホテルの分類 (国際分類) ・日本特有のホテル分類 (日本分類) ・日本独自の宿泊文化「旅館」	事前学修 (90分) : ホテルにはどのような分類があるのかを調べておく 事後学修 (90分) : ホテルの分類を確認・理解			富樫	
6	外資系ホテル ホテルブライダル ・ホテルの起源と歴史、ホテルの3大偉人 ・日本の外資系ホテル ・ホテルウエディングの発祥と現在	事前学修 (90分) : 外資系ホテルはどのようなホテルがあるのか調べておく 事後学修 (90分) : 外資系ホテルの特徴を確認・理解			富樫	
7	ホテル経営形態 ・ホテルの「所有」「経営」「運営」 ・ホテルの4つの経営形態 ・日本のホテルの資本形態と収益構造	事前学修 (90分) : ホテルの経営にはどのような形態があるのか調べておく 事後学修 (90分) : ホテルの経営形態を確認・理解			富樫	
8	中間のまとめ ・第1回～第7回のまとめ (理解度確認テスト)	事前学修 (90分) : 今までのまとめをしておく 事後学修 (90分) : 中間のまとめを確認・理解			富樫	
9	レストランの種類 ・ホテルのレストランの種類 ・フードサービス産業、その分類と歴史	事前学修 (90分) : レストランにはどのような種類があるのか調べておく 事後学修 (90分) : レストランの種類を確認・理解			富樫	
10	和食の理解 ・スローフードとしての和食 ・和食と食育	事前学修 (90分) : 和食の特徴を調べておく 事後学修 (90分) : 和食の特徴を確認・理解			富樫	
11	和食コース 文化 マナー ・無形文化遺産としての和食 ・「本膳料理」「懐石料理」「会席料理」 ・和食の作法・マナー	事前学修 (90分) : 和食のコースについて調べておく 事後学修 (90分) : 和食のコースについて確認・理解			富樫	
12	中華料理 文化 マナー ・中国四大料理 ・日本における中国料理と中華料理 ・中国料理のマナー	事前学修 (90分) : 中華料理について調べておく 事後学修 (90分) : 中華料理について確認・理解			富樫	
13	フランスコース料理 文化 マナー ・高級フランス料理とフランス地方料理 ・フランス料理の発祥と現代までの変遷 ・高級フランス料理のコースとマナー	事前学修 (90分) : フランス料理について調べておく 事後学修 (90分) : フランス料理について確認・理解			富樫	
14	フードサービス プロフェッショナルの実例 ・フードサービスまとめ、その他の料理文化「ハラルフード」 ・帝国ホテルのプロフェッショナルたち (動画視聴)	事前学修 (90分) : フードサービス全体についてまとめておく 事後学修 (90分) : フードサービス全体のまとめを確認・理解			富樫	

15	総まとめ ・第1回～第15回のまとめ ・期末試験の説明	事前学修 (90分) : 全体をま めておく 事後学修 (90分) : 全体の確 認・理解	富樫
成績評価の方法と基準	授業貢献度 (10%)、毎授業後のコメント票 (10%)、試験 (80%) の要素を総合的に評価します。		
履修上の留意点	ニュースや新聞等で、常日頃から、ホテルやフードサービスのあり方を意識して動向を理解していく習慣をつける とことをお勧めします。		
ディプロマ・ポリシーとの関連	本科目は、サービス経営学部ディプロマ・ポリシーの (1) ～ (3) と関連しています。		
教科書	なし		
参考書・参考資料	日本ホテル教育センター「ホテルビジネス (基礎編)」2014年 土井久太郎著「よくわかるホテル業界」日本実業出版社2009年		
学生との連絡方法	AAAを使用します。		
実務経験科目	実務経験科目に該当する。株式会社帝国ホテルに勤務。ホテル統括マーケティング部門・宿泊部門を担当。ゲスト リレーションズ支配人などの経験をもとに、ホテル・フードサービスについて理論と実践の融合を図っている。		

授業形態	開講学部	サービス経営学部	選択	2単位	講義・演習	
	3年次	開講期 後期	ディスカッション	有	学外授業	無
授業科目 (英名)	広告論 (Advertising)					
担当教員名	金澤 良昭 (◎は科目責任者)					
[授業の概要] 本講義では、理論的視点と実務的視点の両面から、広告についての重要なトピックを取り上げて解説していきます。マーケティング活動の一環としての広告を概観した後、広告媒体ごとの特徴、効果、動向等を学びます。加えて、必要と思われる場合 (広告表現、媒体計画の企画、その他) は、個人もしくはグループでのワーク・討議を通して広告の理解を深めてもらいます。また理解が促進できるよう授業及び、事前事後学修に映像教材を使用する場合があります。						
[科目の位置付け (全学年を通しての関連科目)] この科目は、本学部のカリキュラム・ポリシー (3)、すなわち、ホスピタリティ・ツーリズムコースの実践的で柔軟な専門性を修得する科目として位置づけられます。ホスピタリティ・ツーリズムコースにおいて情報やメディアといった分野を学ぶための一科目です。広告については、さまざまな学問領域で研究されていますが、この授業においては経営学、マーケティングの視点で説明していきます。						
[到達目標] (1) 企業が広告を行う目的やプロセス、効果について基本的な内容、メディアと周辺の技術の変化が広告に及ぼす影響を理解し説明することができる。 (2) 企業が広告を行う目的やプロセス、効果について分析し、その結果を対象者に合わせて文章と図解によって表現することができる。						
回	授業計画		授業外学修 (事前学修・事後学修)		担当者	
1	広告を学ぶ上で必要なマーケティングの基礎 マーケティング・ミックス、マーケティング・コミュニケーション、ブランド、IMCについて学修する。		事前学修 (90分) : 広告やマーケティングに関する参考文献を読む 事後学修 (90分) : マーケティング・コミュニケーションの復習		金澤	
2	マーケティング・コミュニケーションの種類、定義、概要 マーケティング・コミュニケーションを構成する、広告、セールスプロモーション、PR、店舗、人的販売、インターネットについて概観する。		事前学修 (90分) : マーケティング・コミュニケーションの種類、定義、概要等に関する予習 事後学修 (90分) : マーケティング・コミュニケーションの種類、定義、概要等に関する復習		金澤	
3	広告の概要 広告の成立要件、およびその種類 (テレビ、ラジオ、新聞、雑誌、インターネット、交通広告、屋外広告、フリーペーパー、) について概観する。		事前学修 (90分) : 広告の概要に関する予習 事後学修 (90分) : 広告の概要に関する復習		金澤	
4	広告メディア① 放送 (テレビ・ラジオ) メディア、OOH (屋外広告、交通広告) の媒体特性について学修する。		事前学修 (90分) : 広告メディア①に関する予習 事後学修 (90分) : 広告メディア①に関する復習		金澤	
5	広告メディア② インターネット・新聞・雑誌の媒体特性、及び広告メディア全般の新しい展開について学修する。		事前学修 (90分) : 広告メディア②に関する予習 事後学修 (90分) : 広告メディア②に関する復習		金澤	
6	広告計画 広告の計画をする上で重要な、状況分析、広告目標設定、媒体計画、表現計画について学修する。		事前学修 (90分) : 広告計画に関する予習 事後学修 (90分) : 広告計画に関する復習		金澤	
7	広告効果と広告予算 広告効果の定義、主要な広告効果モデル、購買後の広告効果、広告調査、国内広告主の概況、広告予算の決定方法、実例について学修する。		事前学修 (90分) : 広告予算と広告効果に関する予習 事後学修 (90分) : 広告予算と広告効果に関する復習		金澤	
8	中間のまとめ 演習形式にて、任意の一般消費財を想定し、前回まで学修した内容の復習を兼ねて広告のプランニングを行う。		事前学修 (90分) : 既習部分の疑問点整理 事後学修 (90分) : 既習部分の復習		金澤	
9	セールス・プロモーション セールス・プロモーション (以下SP) の定義、SPの分類、主要な消費者向けSPの説明、IMCを前提とした企業のSPの在り方について学修する。		事前学修 (90分) : セールス・プロモーションに関する予習 事後学修 (90分) : セールス・プロモーションに関する復習		金澤	
10	広告・SP関連の法と規制 国内における消費財についての法規、公正競争規約制度を概観。また景品表示法については、表示および景品について実例を交え詳しく学修する。		事前学修 (90分) : 広告・SP関連の法と規制に関する予習 事後学修 (90分) : 広告・SP関連の法と規制に関する復習		金澤	
11	PR コーポレートPR (企業広報) とマーケティングPR (商品広報) を概観した上で、マーケティングPRの詳細に触れ、最近の「戦略PR」を紹介する。		事前学修 (90分) : PRに関する予習 事後学修 (90分) : PRに関する復習		金澤	
12	インターネットとマーケティング・コミュニケーション① 消費者とインターネットを活用したコミュニケーションを行う上で知っておくべきことを学修する。内容としては、口コミと企業の対応、個人におけるネット活用の変化 (リアルとネットの実態比較、情報拡散の実態、ダークソーシャル現象、情報収集・検索の変化) などについて取り上げ解説する。		事前学修 (90分) : インターネットとマーケティング・コミュニケーション①に関する予習 事後学修 (90分) : インターネットとマーケティング・コミュニケーション①に関する復習		金澤	
13	インターネットとマーケティングコミュニケーション② 経済活動全般そして、マーケティング・コミュニケーションにも多大な変化をもたらしたネット通販 (EC)、ネットスーパーの実態を概観するとともに、関連する重要な概念 (ダイレクトレスポンス広告、LTV) を開設する。またソーシャルメディアを使った最新のコミュニケーション手法を紹介する。		事前学修 (90分) : インターネットとマーケティング・コミュニケーション②に関する予習 事後学修 (90分) : インターネットとマーケティング・コミュニケーション②に関する復習		金澤	

14	店舗におけるマーケティング・コミュニケーション 店舗内で行われるマーケティング・コミュニケーション活動の中で、「売り場作り」に焦点を当て解説する。VMD理論、フロアゾーニングとフロアレイアウト、陳列、POP、ディスプレイ、商品やストアのプレゼンテーション、空間コーディネートなどについて学修する。	事前学修(90分)：店頭・店舗におけるマーケティング・コミュニケーションに関する予習 事後学修(90分)：店頭・店舗におけるマーケティング・コミュニケーションに関する復習	金澤
15	期末のまとめ 一般消費財について、広告(放送、OOH、雑誌)とSP等の統合的なプランニングを題材に、第14回までに学修した内容の振り返りを行う。	事前学修(90分)：既習部分の疑問点整理 事後学修(90分)：既習部分の復習	金澤
成績評価の方法と基準	毎回の授業における課題(出席コメント票、及びその他の課題など)45%、期末のレポート課題55%により、総合的に評価します。		
履修上の留意点	特にありません。		
ディプロマ・ポリシーとの関連	本科目は、サービス経営学部ディプロマ・ポリシーの(1)および(2)と関連しています。		
教科書	ありません。		
参考書・参考資料	毎回の授業時に必要に応じて参考になる文献を案内いたします。		
学生との連絡方法	メールおよびAAA		
実務経験科目	実務経験科目に該当する。電機メーカーに勤務し広告・広報・販売促進などの業務を担当。実務経験をもとに広告について理論と実践の融合を図っている。		

授業形態	開講学部	サービス経営学部		選択	2単位	講義	
	2年次	開講期	後期	ディスカッション	無	学外授業	無
授業科目（英名）	金融論（Financial Economics）						
担当教員名	松澤 祐介 (◎は科目責任者)						
<p>〔 授業の概要 〕 「金融」といえばまず、銀行やコンビニの ATM に馴染みがあることでしょう。金融の仕事はサービス業でもある一方、近年は「仮想通貨（暗号資産）」や〇〇ペイのような「キャッシュレス」決済、といった「リアルなお金」を用いない、新たな金融とそのサービスの提供も関心を高めています。また、一昨年から食料品をはじめ様々な財やサービスの価格が上昇していますが、同じお金で変える量が少なくなってしまう「インフレ」には金融の面で「金融政策」に変更があるかもしれません。日本経済をめぐる変化で金利も皆さんが生まれたころからずっと続く「ゼロ金利」が変わる局面にあり、開講する頃は金融の大きな変化・転換点となるかもしれません。そこでこの講義では、まず「お金」や銀行の基本的な機能の理解からはじめ、お金の動きは経済にどのような影響を与え、どのようにして支えているのか、経営に必要なお金はどのように調達するのか、を考えます。</p> <p>〔 科目の位置付け（全学年を通しての関連科目） 〕 この科目は、本学部のカリキュラム・ポリシー（3）、すなわち、グローバル経済コースの実践的で柔軟な専門性を修得する科目として位置づけられます。金融を経済学的に分析することを通じて、お金とは何か、そして「お金」はどのように使われ、殖え、私たちの生活を豊かにするかを理解することで、サービス経営学部において、サービス業としての金融業を理解する一助とします。</p> <p>〔 到達目標 〕 (1) サービスの一分野である金融に関する基礎的な知識を獲得し、説明できる。 (2) 金融の知識を通じて、企業の資金調達や、金利の影響など、企業経営や消費行動に関連する分野への連関を表現できる。</p>							
回	授業計画	授業外学修 （事前学修・事後学修）			担当者		
1	金融論で学ぶこと：最近の金融に関する話題、金融の基本的な仕組み、金融に関する用語を確認します	事前学修（90分）：教科書第1章から講義の概要をつかむ 事後学修（90分）：第1回内容に関するAAA配布課題に取り組む（90分）					
2	金融機関の種類とその業務：サービス業としての金融の位置づけ、金融を担う金融機関の種類、金融機関それぞれの固有業務、付随業務を確認します。	事前学修（90分）：教科書第7章、第8章該当箇所を読む 事後学修（90分）：第2回内容に関するAAA配布課題に取り組む（90分）					
3	貨幣の役割と機能：貨幣とは何か、貨幣にはどのような機能があるか、を学びます。	事前学修（90分）：教科書第2章の該当箇所を読む 事後学修（90分）：第3回内容に関するAAA配布課題に取り組む					
4	日本の金融史：日本でどのように金融機関や金融市場が発展してきたのか、その展開を明治以降から現代まで学びます。	事前学修（90分）：教科書第9章該当箇所を読む 事後学修（90分）：第4回内容に関するAAA配布課題に取り組む					
5	銀行の役割：金融仲介を担う、間接金融としての銀行業を学びます。	事前学修（90分）：教科書第7章の該当箇所を読む 事後学修（90分）：第5回内容に関するAAA配布課題に取り組む					
6	金融市場と金利：お金の貸し借りが行われる際の金利、資金が融通される金融市場の機能を学びます。	事前学修（90分）：教科書の第3章該当箇所を読む 事後学修（90分）：第6回内容に関するAAA配布課題に取り組む					
7	企業金融と証券市場：企業の資金調達、直接金融としての株式、債券とその市場について学びます。	事前学修（90分）：教科書の第13章該当箇所を読む 事後学修（90分）：第7回内容に関するAAA配布課題に取り組む					
8	保険業：生命保険、損害保険の機能、役割を学びます。	事前学修（90分）：教科書の第12章該当箇所を読む 事後学修（90分）：第8回内容に関するAAA配布課題に取り組む					
9	金融と情報：「不完全情報」がもたらす問題を金融の観点から学びます。	事前学修（90分）：教科書の該当箇所を読む 事後学修（90分）：第9回内容に関するAAA配布課題に取り組む					
10	信用秩序と金融機関監督：お金の流れを担う金融機関への規制、監督について学びます。	事前学修（90分）：教科書の第11章該当箇所を読む 事後学修（90分）：第10回内容に関するAAA配布課題に取り組む					
11	中央銀行の機能と役割：貨幣を発行する中央銀行の業務と役割りについて学びます。	事前学修（90分）：教科書の第5章該当箇所を読む 事後学修（90分）：第11回内容に関するAAA配布課題に取り組む					
12	金融政策の理論：中央銀行による金融政策を理論的に考察します。	事前学修（90分）：教科書の第4章該当箇所を読む 事後学修（90分）：第12回内容に関するAAA配布課題に取り組む					
13	日本の近年の金融政策の展開：1990年代以降の日本の特異な状況に対する金融政策の展開を学びます。	事前学修（90分）：教科書の第6章該当箇所を読む 事後学修（90分）：第13回内容に関するAAA配布課題に取り組む					
14	資金循環：日本の資金循環の現状と課題を検討します。	事前学修（90分）：教科書の第11章該当箇所を読む 事後学修（90分）：第14回内容に関するAAA配布課題に取り組む					

15	あらたな金融の展開：Covid-19パンデミック下での金融事業、暗号通貨（仮想通貨）などのいわゆるFinTechについての現状と展望、を学びます。	事前学修（90分）：教科書の第2章、第15章該当箇所を読む 事後学修（90分）：AAAで配布される全体のまとめとなる演習問題に取り組む	
成績評価の方法と基準	授業で課される講義内容に関する課題（50%）、試験（50%）で評価します。		
履修上の留意点			
ディプロマ・ポリシーとの関連	本科目は、サービス経営学部ディプロマポリシーの（1）（3）と関連しています。特に、金融の基礎知識から、（3）が実践に積極的に活用されることが期待されます。		
教科書	家森信善 『ベーシック+金融論（第3版）』 中央経済社 2022年		
参考書・参考資料			
学生との連絡方法	AAAを活用します。		
実務経験科目	実務経験科目に該当する。日本銀行に勤務。金融政策運営、金融市場、外為市場、企業動向の調査等に従事。実務経験をもとに、銀行業、金融政策運営、金融市場について理論と実践の融合を図っている。		

授業形態	開講学部	サービス経営学部	選択	2単位	講義		
	3年次	開講期	前期	ディスカッション	無	学外授業	無
授業科目（英名）	国際金融論（International Finance）						
担当教員名	松澤 祐介						（◎は科目責任者）
<p>〔授業の概要〕</p> <p>サービスの現場や経営を今後担っていく諸君に、海外企業や顧客との取引・「お金」の移動に関係する仕事に就いたとき、その基礎となる知識を身に付けることが狙いです。新型コロナウイルス感染症がほぼ終息するなかで、ニタフ訪日観光客のブームとなっていますが、これはこの10年余りの間に日本のお金「円」と外国のお金との関係、すなわち外国為替市場で円安が進んだことも関係しています。この円安では、久しぶりに海外旅行に出た日本人観光客は海外の食費やホテル代をはじめ物価高に困惑しているといえます。しかし、例えばアメリカ合衆国のお金ドルと円の関係が、1ドル=150円から1ドル=100円、つまり「円高」になれば、1ドルのものを50円安く私たちは買えることになり、輸入品が安くなりますから輸入品を扱う/使う業種は繁盛し、海外旅行も有利になることでしょう。このように、日本のお金と外国のお金の関係＝外国為替市場の変動はサービス業の経営にも大きな影響をもたらします。この講義を受講することで世界にはどのようなお金があるのか、という基礎的な知識から、為替相場の変動の理論、その影響、世界的なお金の流れについて説明できるようになり、グローバルに展開するサービス業の現場で従事する際の一助になる講義です。</p> <p>〔科目の位置付け（全学年を通しての関連科目）〕</p> <p>この科目は、本学部のカリキュラム・ポリシー（3）、すなわち、グローバル経済コースの実践的で柔軟な専門性を修得する科目として位置づけられます。国際金融論は「経済学」「金融論」の応用科目の一つです。本講義では金融経済に関するより発展的な知識を修得します。</p> <p>〔到達目標〕</p> <p>国際金融に関わる基本的な知識を修得し、特に為替レートに関する仕組み、決定要因及び通貨制度についての基本的な内容を説明できる。国際金融に関連した経済現象について、それがサービス業をはじめ、産業や経済に及ぼす影響及び効果を国際金融の理論的な知識に基づき考察し説明できる。</p>							
回	授業計画	授業外学修 （事前学修・事後学修）			担当者		
1	国際金融で学ぶこと：講義の全体像、国際金融に関する基本的な枠組み	事前学修（90分）：教科書の「はじめに」の箇所を熟読する。 事後学修（90分）：AAAに掲載する第1回の内容の復習課題に取り組む。					
2	世界の通貨：主要国の通貨に関する基礎知識	事前学修（90分）：AAAに掲載する主要国通貨の資料を熟読する。 事後学修（90分）：AAAに掲載する第2回の内容の復習課題に取り組む。					
3	世界の通貨：途上国の通貨に関する基礎知識	事前学修（90分）：AAAに掲載する途上国通貨に関する資料を熟読する。 事後学修（90分）：AAAに掲載する第3回の内容に関する復習課題に取り組む。					
4	外国為替の仕組み：外国送金、海外との決済制度	事前学修（90分）：教科書第1章を熟読する。 事後学修（90分）：AAAに掲載する第4回の内容の復習課題に取り組む。					
5	外国為替相場：外国為替相場の基本的な仕組み	事前学修（90分）：教科書第2章、第4章を熟読する。 事後学修（90分）：AAAに掲載する第5回の内容の復習課題に取り組む。					
6	外国為替市場：外為市場の制度、取引	事前学修（90分）：教科書第3章、第4章を熟読する。 事後学修（90分）：AAAに掲載する第6回の内容の復習課題に取り組む。					
7	国際収支：国際収支表の見方、仕組み	事前学修（90分）：教科書第5章を熟読する。 事後学修（90分）：AAAに掲載する第7回の内容の復習課題に取り組む。					
8	外国為替の決定理論	事前学修（90分）：教科書第6章を熟読する。 事後学修（90分）：AAAに掲載する第8回の内容の復習課題に取り組む。					
9	国際金融と経済政策：国際マクロ経済学の基本	事前学修（90分）：教科書第7章を熟読する。 事後学修（90分）：AAAに掲載する第9回の内容の復習課題に取り組む。					
10	国際通貨制度：IMF等の国際金融機関、通貨当局の機能と役割	事前学修（90分）：教科書第8章を熟読する。 事後学修（90分）：AAAに掲載する第10回の内容の復習課題に取り組む。					
11	国際通貨制度の変遷：金本位制から現在までの展開	事前学修（90分）：教科書第8章を熟読する。 事後学修（90分）：AAAに掲載する第11回の内容の復習課題に取り組む。					

12	通貨統合：ヨーロッパの共通通貨ユーロ	事前学修（90分）：教科書第9章を熟読する。 事後学修（90分）：AAAに掲載する第12回の内容の復習課題に取り組む。	
13	国際資本移動：その経済的な成果と問題点	事前学修（90分）：教科書第10章を熟読する。 事後学修（90分）：AAAに掲載する第13回の内容の復習課題に取り組む。	
14	通貨危機と政策対応：アジア通貨危機、グローバル金融危機、ユーロ危機とその対応	事前学修（90分）：教科書第11章を熟読する。 事後学修（90分）：AAAに掲載する第14回の内容の復習課題に取り組む。	
15	国際金融・通貨制度の展望：元の国際化、FinTechの影響	事前学修（90分）：教科書第12章を熟読する。 事後学修（90分）：AAAに掲載する講義全体の内容に関する復習課題に取り組む。	
成績評価の方法と基準		試験の成績（50%）と講義の復習のための提出課題（50%）で評価します。	
履修上の留意点			
ディプロマ・ポリシーとの関連		本科目は、サービス経営学部ディプロマポリシーの（1）、（3）と関連しています。特に国際金融、外国為替の仕組みを自ら考える能力を身に着けることが求められます。	
教科書		西村陽造他『新・国際金融のしくみ』有斐閣 2020年	
参考書・参考資料			
学生との連絡方法		AAAを活用します。	
実務経験科目		実務経験科目に該当する。日本銀行に総合職として勤務。国際局、調査統計局、企画室等で金融政策、金融市場等に関する調査を担当。実務経験をもとに国際金融の仕組み、政策対応等について話をします。	

授業形態	開講学部	サービス経営学部		選択	2単位	講義	
	2年次	開講期	後期	ディスカッション	無	学外授業	無
授業科目（英名）	経済政策 (Economic Policy)						
担当教員名	松澤 祐介 (◎は科目責任者)						
<p>〔授業の概要〕 授業は経済における「政府」の役割について学習します。初級経済学で学んだように我々の日常生活において経済活動の主体は「民間」が主体で、「市場」を通じて価格や数量が決まるとされます。しかし、必ずしも民間や市場に任せておけば、経済的に望ましくない状況も生じてきます。不況で失業者が増えた場合、そのままでは治安も悪化しますし、サービスを購入しなくなるでしょう。公園や道路といった「公共」のサービスは民間の会社が計画して建設、運営してくれるのでしょうか。2020年からのCovid-19の問題ではなぜ患者は無料で受診・入院できたのでしょうか？2022年からサービスも含め様々な価格・料金が上昇していますが、政府等にはどのような政策が必要なのでしょう？そして、2024年初の能登半島震源の震災にはどのように政策として対応できる/すべきでしょうか。このようにみると、政府が経済活動・経営を行う、もしくは介入する役割があることに気が付きます。一方で政府が介入しすぎたり、公共サービスの提供のために税の負担を高めたりすると、経済の活力を失う可能性もあります。なぜ政府が存在し、経済政策を行うのか、という政府の役割の基礎的理解から始め、現在の日本経済の抱える電力や交通など公益事業、年金、消費税、財政赤字、「インフレ・ターゲティング」といった金融政策などの課題も視野に入れながら講義を進めます。</p>							
<p>〔科目の位置付け（全学年を通しての関連科目）〕 この科目は、本学部のカリキュラム・ポリシー(3)、すなわち、サービス経営学科の専門への関心にしたがった体系的な履修を支援する専門基幹科目として位置づけられます。初級経済学、中級経済学の知識を活用し、また金融論とも関連する科目です。</p>							
<p>〔到達目標〕 (1) サービス業への政府介入・規制や消費行動と政府の政策の関係をj知ることjでサービス業と政府の関連に関して分析することができる。 (2) サービス業と政府のj関係、法制度等の基礎的な知識から他のサービス業の政府との関連に関する説明ができる</p>							
回	授業計画			授業外学修 (事前学修・事後学修)		担当者	
1	経済政策とは何か：政府の経済政策の必要性、経済政策の理論的背景、経済政策を考える視点の概説			事前学修(90分)：教科書の第1部「はじめに」の箇所を熟読する。 事後学修(90分)：AAAに掲載する第1回の内容の復習課題に取り組む。		松澤	
2	市場機構と外部性：市場経済の基本原j理と政府の介入の正統性を、外部性から説明			事前学修(90分)：教科書第1部の回答箇所を熟読する。 事後学修(90分)：AAAに掲載する第2回の内容の復習課題に取り組む。		松澤	
3	公共財：政府が提供する公共財についてその理論的背景の説明			事前学修(90分)：教科書第5章、第8章の該当箇所を熟読する。 事後学修(90分)：AAAに掲載する第3回の内容に関する復習課題に取り組む。		松澤	
4	公益事業：独占になりがちな公益事業の特性と経済政策からの対応の検討			事前学修(90分)：教科書第2章、第5章の該当箇所を熟読する。 事後学修(90分)：AAAに掲載する第4回の内容の復習課題に取り組む。		松澤	
5	情報の経済学と経済政策：完全競争市場が実現しない、「完全情報」ではない場合の経済政策の検討			事前学修(90分)：教科書第5章の該当箇所を熟読する。 事後学修(90分)：AAAに掲載する第5回の内容の復習課題に取り組む。		松澤	
6	経済規制と競争政策：政府の経済規制の根拠、および、規制改革、競争政策			事前学修(90分)：教科書第7章、第9章を熟読する。 事後学修(90分)：AAAに掲載する第6回の内容の復習課題に取り組む。		松澤	
7	再分配政策の概要：政府による所得再分配の根拠、再分配政策の概要			事前学修(90分)：教科書第3種、第4章を熟読する。 事後学修(90分)：AAAに掲載する第7回の内容の復習課題に取り組む。		松澤	
8	公的年金制度：日本の年金制度とその課題			事前学修(90分)：教科書第10章を熟読する。 事後学修(90分)：AAAに掲載する第8回の内容の復習課題に取り組む。		松澤	
9	医療：日本の公的医療保険、医療費支出と課題			事前学修(90分)：教科書第10章を熟読する。 事後学修(90分)：AAAに掲載する第9回の内容の復習課題に取り組む。		松澤	
10	その他の再分配政策：生活保護、各種の給付			事前学修(90分)：教科書第3章、第10章を熟読する。 事後学修(90分)：AAAに掲載する第10回の内容の復習課題に取り組む。		松澤	
11	財政と税制：財政の役割、その財源となる税の仕組み			事前学修(90分)：教科書第1章を熟読する。 事後学修(90分)：AAAに掲載する第11回の内容の復習課題に取り組む。		松澤	

12	財政政策：財政政策の原理、安定化政策としての財政政策	事前学修（90分）：教科書第1章、第2章を熟読する。 事後学修（90分）：AAAに掲載する第12回の内容の復習課題に取り組む。	松澤
13	日本の財政政策の展開：1990年代以降の財政政策の展開と課題	事前学修（90分）：教科書第1章、第4章を熟読する。 事後学修（90分）：AAAに掲載する第13回の内容の復習課題に取り組む。	松澤
14	金融政策：安定化政策からみた金融政策の役割、理論	事前学修（90分）：教科書第4章を熟読する。 事後学修（90分）：AAAに掲載する第14回の内容の復習課題に取り組む。	松澤
15	経済政策の課題：Covid-19パンデミックへの経済政策としての対応と海外事例との比較検討	事前学修（90分）：AAAに掲載する第15回関連資料の熟読。 事後学修（90分）：AAAに掲載する講義全体の内容に関する復習課題に取り組む	松澤
成績評価の方法と基準		試験の成績（50%）と講義の復習のための提出課題の内容（50%）で評価します。	
履修上の留意点			
ディプロマ・ポリシーとの関連	本科目は、サービス経営学部ディプロマポリシーの1)と2)と関連しています。特にサービス業と政府の関連に関して法制度等の基礎的な知識からサービス業の政府との関連に関し、分析、説明ができることが求められます。		
教科書	柳川隆・永合位行『セオリー&プラクティス 経済政策』 有斐閣 2017年		
参考書・参考資料			
学生との連絡方法	AAAを活用します。		
実務経験科目	実務経験科目に該当する。日本銀行に勤務。金融政策運営およびそれに資する、金融市場、外為市場、企業動向の調査等に従事。実務経験をもとに、金融政策運営について理論と実践の融合を図っている。		

授業形態	開講学部	サービス経営学部	選択	2単位	講義		
	2年次	開講期	前期	ディスカッション	無	学外授業	無
授業科目（英名）	観光サービス論（Tourism Industry）						
担当教員名	波瀾 郁代						（◎は科目責任者）
<p>〔 授業の概要 〕</p> <p>観光は、異なる背景を持つ人、国や地域の相互理解を促し、歴史や文化を知る機会を提供し、そして経済効果をもたらすなど幅広い影響力を持っています。これを支えているのが観光産業です。観光産業が世界全体に占めるGDP（国内総生産）の貢献額および雇用は、新型コロナ直前の2019年まで共に10%を超えていました。新型コロナで観光産業は大きな打撃を受けましたが、現在は回復が順調に進みます。日本では2023年の訪日外客数は2,507万人と2019年の8割まで回復し、訪日外国人の国内消費額は5.3兆円とコロナ前を上回り、日本経済への観光の期待が高まります。本授業では、観光サービスの提供という視点にたち、①現代社会における観光の意義 ②観光サービスおよびそれに関わる事業者の理解 ③観光が現在抱える課題や未来の姿について理解することを目指します。</p> <p>〔 科目の位置付け（全学年を通しての関連科目） 〕</p> <p>本科目は、本学部のカリキュラムポリシー(3)、ホスピタリティ・ツーリズムコースの実践的で柔軟な専門性を修得する科目に位置付けられます。観光サービスの本質的な理解により、利便性や合理性が追求される現代社会において、心豊かに暮らすとはどういうことか、そのために必要なことや省力化すべきことを考えるための基礎知識を得ることを目指します。</p> <p>〔 到達目標 〕</p> <p>(1) 観光とは何か、基礎的知識を習得し、観光が社会や人々にもたらす影響について語ることができる (2) 観光に関するビジネスの現状を理解し、今後のあり方について自分の意見を持ち、説明することができる (3) 観光産業が抱える課題について観光学の観点から考察し、課題解決を検討することができる。</p>							
回	授業計画	授業外学修 (事前学修・事後学修)			担当者		
1	本講義の紹介： 本授業と、「観光資源論」「観光まちづくり論」「観光実務論」「ニューツーリズム論」の授業との位置付けや意義の違いを説明しながら、本授業からどんなことを学ぶか説明します。	事前学修（90分）：シラバスを読み、この授業の方式・内容を確認する 事後学修（90分）：講義資料とノートを確認しながら課題に回答し、授業内容を復習する			波瀾 郁代		
2	現代社会における観光の意義と波及効果 観光が日本経済にとって重要な産業として注目されてきた背景を学びます。	事前学修（90分）：観光白書の指定したページを読む 事後学修（90分）：講義資料とノートを確認しながら課題に回答し、授業内容を復習する			波瀾 郁代		
3	観光の基本的なしくみ① ～観光を構成する要素～ 観光におけるカスタマージャーニーを学びます	事前学修（90分）：観光旅行の経験を詳細に書き出し、関わる人や物事について整理する 事後学修（90分）：講義資料とノートを確認しながら課題に回答し、授業内容を復習する			波瀾 郁代		
4	観光の基本的なしくみ② ～観光サービスに関わる言葉～ 観光サービスを学ぶ上で必要な言葉を説明します。	事前学修（90分）：観光旅行をするときに受けたサービスと接点を整理する 事後学修（90分）：講義資料とノートを確認しながら課題に回答し、授業内容を復習する			波瀾 郁代		
5	観光産業の構成と特徴 観光サービスを提供する事業について説明します	事前学修（90分）：どのような観光サービスに関わったことがあるかについての回答の作成 事後学修（90分）：講義資料とノートを確認しながら課題に回答し、授業内容を復習する			波瀾 郁代		
6	観光ビジネス① ～旅行業～ 成り立ちと観光における役割、現在の動きを学びます	事前学修（90分）：旅行社のウェブサイトを見学 事後学修（90分）：講義資料とノートを確認しながら課題に回答し、授業内容を復習する			波瀾 郁代		
7	観光ビジネス② ～宿泊業～ 成り立ちと種類、現在の動きを学びます	事前学修（90分）：宿泊施設（ホテル・旅館）の公式サイトおよび宿泊施設予約専用サイト（OTA）を見る 事後学修（90分）：講義資料とノートを確認しながら課題に回答し、授業内容を復習する			波瀾 郁代		
8	観光ビジネス③ ～交通運輸業～ 成り立ちと種類、現在の動きを学びます	事前学修（90分）：旅行における交通手段の整理と代表的な会社の公式サイトを見る 事後学修（90分）：講義資料とノートを確認しながら課題に回答し、授業内容を復習する			波瀾 郁代		
9	観光ビジネス④ ～観光情報編集～ 観光情報の発信とITの役割について学びます	事前学修（90分）：旅行情報を取得できる媒体を書き出す 事後学修（90分）：講義資料とノートを確認しながら課題に回答し、授業内容を復習する			波瀾 郁代		
10	観光政策と観光行政 観光産業を支える国、自治体の仕事や方針について学びます	事前学修（90分）：国や地方自治体で観光に関わるサイトを探してみる 事後学修（90分）：講義資料とノートを確認しながら課題に回答し、授業内容を復習する			波瀾 郁代		
11	観光協会、DMOについて 観光振興における機能と着地型観光の概要を学びます	事前学修（90分）：着地型観光プランの情報収集 事後学修（90分）：講義資料とノートを確認しながら課題に回答し、授業内容を復習する			波瀾 郁代		

12	観光動向① ～国際観光と世界の観光ビジネス～ 世界の観光振興の状況と代表的な旅行・観光事業者について学びます	事前学修（90分）：観光白書およびUNWTOの指定した資料を読む 事後学修（90分）：講義資料とノートを確認しながら課題に回答し、授業内容を復習する	波潟郁代
13	観光動向② ～観光業のイベントリスクと国内の現状について～ 災害、感染症などのイベントリスクの影響について説明します	事前学修（90分）：観光白書の指定した部分を読む 事後学修（90分）：講義資料とノートを確認しながら課題に回答し、授業内容を復習する	波潟郁代
14	および観光動向② ～観光業のイベントリスクについて、観光事業者別の対応～ イベントリスクの各事業者の取り組みと、持続的な観光に向けた取り組みを学びます	事前学修（90分）：観光が与える悪い影響や観光が不可能になる事態を各種ニュースサイトから探し出す 事後学修（90分）：講義資料とノートを確認しながら課題に回答し、授業内容を復習する	波潟郁代
15	期末試験	事前学修（90分）：本講義から得られた知見についての洗い出し 事後学修（90分）：授業内容を復習する	波潟郁代
成績評価の方法と基準		学習意欲の把握を行うものとして出席とフィードバックシート（50%）、授業全体の理解と自らの考えをまとめるなど応用力を問う内容の期末試験（50%）	
履修上の留意点		観光サービスを提供する事業主体の中から1つでも興味関心を持ち、普段から身近なものとして注目し、疑問や意見を自らの言葉で表現することを期待します。	
ディプロマ・ポリシーとの関連		本科目は、サービス経営学部ディプロマ・ポリシーの(1)～(3)に関連します。観光サービスに関わる知識を得て、観光にかかわる身近な現象について気づき、考察する力を有していただきたいと思います。	
教科書		使用しません。	
参考書・参考資料		適宜資料を紹介します。	
学生との連絡方法		AAAやメールを用いて連絡を取ります。	
実務経験科目		実務経験科目に該当する。株式会社JTBおよび株式会社JTB総合研究所に勤務。旅行商品の販売促進、広報実務、観光マーケティングに従事。JTBが50年以上発表し続けている、夏休み、年末年始、年間の旅行推計を15年以上担当。生活者のライフスタイルや価値観の変化による観光の変化を研究するとともに、国や自治体の交通政策や自治体の総合計画や観光ビジョンの有識者委員や公的団体のまちづくりの専門官を務めた。実務経験をもとに、観光サービスの理論と実践の融合を図っている。	

授業形態	開講学部	サービス経営学部		選択	2単位	講義	
	3年次	開講期	後期	ディスカッション	有	学外授業	無
授業科目（英名）	観光まちづくり論（Tourism and Community Design）						
担当教員名	波瀾 郁代 (◎は科目責任者)						
<p>〔 授業の概要 〕 日本の総人口は2008年をピークに減少に転じるとともに、総人口に占める65歳以上の高齢者の割合は2023年で29.1%に達しています。特に人口流出の大きい地方部における活力の低下は喫緊の課題です。持続可能な地域のあり方にローカル経済圏の形成は不可欠で、その下地となるのが産業振興とまちづくりです。近年は、まちづくりに観光の視点が取り入れられ、地域が主体となり、自然、文化、産業、人とあらゆる地域の資源を活かす観光まちづくりの取り組みが各地で進んでいます。 本授業では、「住んでよし、訪れてよし」、つまり「自らの地域を愛し、誇りをもって暮らしているならば自ずと誰しもが訪れたいくなる」を前提に、データから課題を見出し、観光まちづくりを地域の課題解決にどう結び付けることができるのか、事例とともに解説します。その後、特定地域について課題の可視化と観光まちづくり案の構想を自由に考え、授業内で共有します。</p>							
<p>〔 科目の位置付け（全学年を通しての関連科目） 〕 本科目は、本学部のカリキュラムポリシー(3)、ホスピタリティ・ツーリズムコースの実践的で柔軟な専門性を修得する科目に位置付けられます。課題先進国といわれる日本社会において、地域住民と訪問者の両者が豊かになるまちづくりに必要な基礎知識を得ながら、自らの関心度を深めることを目指します。</p>							
<p>〔 到達目標 〕 (1) 日本が抱える社会課題を理解し、「住んでよし、訪れてよし」の状態はどのようなことなのか持論を展開できる。 (2) 観光まちづくりの事例を通して、観光の視点を活用した地域活性化を提案できる。 (3) 観光の課題を地域の観光以外の資源を活かして融合した観光振興の提案ができる。</p>							
回	授業計画	授業外学修 (事前学修・事後学修)			担当者		
1	本講義の紹介および観光まちづくりの基本的な考え方	事前学修(90分)：シラバスを読み、この授業の方式・内容を確認する 事後学修(90分)：講義資料とノートを確認しながら課題に回答し、授業内容を復習する			波瀾 郁代		
2	まちづくりのための観光マーケティングとは何か① ～事例を使って観察と考察を行う～ 観光地に関わる楽しい動画を見て、課題の抽出（SWOT分析）をします ①動画鑑賞とSWOT分析の説明	事前学修(90分)：各種資料や報道などからまちづくりに関するニュースをピックアップ 事後学修(90分)：講義資料とノートを確認しながら課題に回答し、授業内容を復習する			波瀾 郁代		
3	まちづくりのための観光マーケティングとは何か② ～前週の事例について、グループワークで実践～ ②発表	事前学修(90分)：グループワークで活用するマーケティング手法の予習を行う 事後学修(90分)：講義資料とノートを確認しながら課題に回答し、授業内容を復習する			波瀾 郁代		
4	日本社会の現状と観光まちづくり① ～日本の代表的な都市と都市評価～ 日本の主要な都市について、同じ視点で成り立ちや機能を学びます 森記念財団都市評価研究所の「日本の都市特性評価」およびRESAS地域経済分析システムを使用します	事前学修(90分)：日本を代表する各地域の中核都市の概要を調べる 事後学修(90分)：講義資料とノートを確認しながら課題に回答し、授業内容を復習する			波瀾 郁代		
5	日本社会の現状と観光まちづくり② ～日本の代表的な都市と都市評価～ (前週の続き) 主要都市の「総合計画」および「観光振興計画」を学びます	事前学修(90分)：各都市のまちづくりおよび観光に関する行政の資料を読む 事後学修(90分)：講義資料とノートを確認しながら課題に回答し、授業内容を復習する			波瀾 郁代		
6	日本社会の現状と観光まちづくり③ ～地方における観光と行政～都市と観光活性化の取り組み～ 対象地方都市の特徴の理解と「総合計画」「観光振興計画」から課題を理解します	事前学修(90分)：指定された県および市の行政のサイトおよび資料を読む 事後学修(90分)：講義資料とノートを確認しながら課題に回答し、授業内容を復習する			波瀾 郁代		
7	日本社会の現状と観光まちづくり④ ～地方都市と観光活性化の取り組み～ (前週の続き) 当該地域の観光まちづくりの事例を学びます	事前学修(90分)：RESAS(地域統計分析システム)から必要なデータを出す 事後学修(90分)：講義資料とノートを確認しながら課題に回答し、授業内容を復習する			波瀾 郁代		
8	日本社会の現状と観光まちづくり⑤ ～データと資料でみる地方の課題～ 令和6年能登半島地震の前後における観光まちづくりと現在について理解します	事前学修(90分)：ニュースを集める、指定地域の資料や公式サイトを見る 事後学修(90分)：講義資料とノートを確認しながら課題に回答し、授業内容を復習する			波瀾 郁代		
9	地域の新たな観光資源と他産業との連携 ～観光の視点を地域の産業振興に活かす事例（オープンファクトリー）～	事前学修(90分)：自身の旅行経験を振り返る、住んでいる地域の地域活性化を観察する 事後学修(90分)：講義資料とノートを確認しながら課題に回答し、授業内容を復習する			波瀾 郁代		
10	社会課題とツーリズムの融合 ～観光の視点を地域活性化に活かす事例（ヘルスツーリズム）～	事前学修(90分)：指定地域の産業構成や観光情報のサイトを見る 事後学修(90分)：講義資料とノートを確認しながら課題に回答し、授業内容を復習する			波瀾 郁代		

11	観光まちづくりを担う人や組織 ～地域活性化、観光活性化の新しい担い手を知る～	事前学修(90分)：指定地域の産業構成や観光情報のサイトを見る 事後学修(90分)：講義資料とノートを確認しながら課題に回答し、授業内容を復習する	波潟郁代
12	データや資料による課題抽出と観光まちづくり案を構想 ～事例と、グループワークに向けたポイント説明～	事前学修(90分)：地域の観光情報の収集方法把握、どんなデータがあるか探す 事後学修(90分)：授業中のディスカッションを踏まえて発表準備を進める	波潟郁代
13	観光まちづくり案を考える① ～グループワーク～	事前学修(90分)：観光まちづくり案を構想し、発表準備する 事後学修(90分)：授業中のディスカッションを踏まえて発表準備を進める	波潟郁代
14	観光まちづくり案を考える② ～発表～	事前学修(90分)：観光まちづくり案を構想し、発表準備する 事後学修(90分)：授業中のディスカッションを踏まえて発表準備を進める	波潟郁代
15	期末試験 授業全体の理解力と自らの考察をまとめる応用力を問います	事前学修(90分)：観光マーケティングの復習 事後学修(90分)：授業内容を復習する	波潟郁代
成績評価の方法と基準		学習意欲の把握を行うものとして出席およびフィードバックシートの提出と内容(50%)、授業全体の理解および自らの考察をまとめる応用力を問う期末試験を実施(50%)	
履修上の留意点		現代の社会の課題にはたった1つの正解が決まっているわけではありません。臆することなく、議論、質問、課題への取り組みを期待します。	
ディプロマ・ポリシーとの関連		本科目は、サービス経営学部ディプロマ・ポリシーの(2)、(4)に関連します。本講義で学んだ経験を活かし、地域の課題に関心を持ち、身近な現象について気づき、考察する力を有していただきたいと思います。	
教科書		使用しません。	
参考書・参考資料		授業内で随時紹介します。	
学生との連絡方法		AAAやメールを用いて連絡を取ります。	
実務経験科目		実務経験科目に該当する。株式会社JTBおよび株式会社JTB総合研究所に勤務。旅行商品の販売促進、広報実務、観光マーケティングに従事。JTBが50年以上発表し続けている、夏休み、年末年始、年間の旅行推計を15年以上担当し、生活者のライフスタイルや価値観の変化を研究するとともに、自治体の総合計画や観光ビジョンの有識者委員や公的団体のまちづくりの専門官を務めた。実務経験をもとに、観光まちづくりの特性について理論と実践の融合を図っている。	

授業形態	開講学部	サービス経営学部	選択	2単位	講義		
	3年次	開講期	前期	ディスカッション	有	学外授業	無
授業科目（英名）	観光資源論（Tourism Resources）						
担当教員名	波潟 郁代						（◎は科目責任者）
<p>〔授業の概要〕 日本経済が上向き、レジャーに関心が高まり始めた時代の観光先といえば、名所旧跡や自然、温泉に代表される有名観光地が主流で、旅行者の「行く場所、見るもの、食べるもの」の行動は画一的でした。しかし、社会が成熟化し、デジタル化による技術革新、ライフスタイルの変化とともに、旅行者の価値観や志向は多様化し、旅行に誘う観光資源も様々に広がってきました。今では、地域に根ざした伝統工芸や地場産業、そこに暮らす人々の生活文化も魅力的な観光資源となり、以前は観光地と思われなかった場所にも多くの人が来訪するようになりました。本講義では、観光資源の基礎を理解した上で、観光資源の潮流と現状の課題をとらえます。また、各地域の魅力を掘り起こし、どんなポイントを誰に、どのように伝えると効果的なのか事例をもとに考える力を身につけることを目指します。</p> <p>〔科目の位置付け（全学年を通しての関連科目）〕 本科目は、本学部のカリキュラムポリシー(3)、ホスピタリティ・ツーリズムコースの実践的で柔軟な専門性を修得する科目に位置付けられます。観光の状況を客観的に把握し、現状の課題や変化を見出せるよう、観光を取り巻く社会とのつながりを理解し、俯瞰力を身につけます。</p> <p>〔到達目標〕 (1)観光資源の基礎知識を理解する。観光資源としての価値や人を惹きつけるものは何か、各地の観光資源を事例に説明できる。 (2)持続可能な観光のための観光資源に関する現代の課題について理解する。各地でどのような取り組みがなされているか把握し、体系的に説明ができる。</p>							
回	授業計画	授業外学修 (事前学修・事後学修)			担当者		
1	本講義の紹介および観光資源とは 観光の構成要素全体における観光資源の位置付けと、他のツーリズムの授業の違い（学びの視点の違い）を観光資源を中心に説明します	事前学修（90分）：シラバスを読み、この授業の方式・内容を確認する 事後学修（90分）：講義資料とノートを確認しながら課題に回答し、授業内容を復習する			波潟郁代		
2	観光のしくみと観光資源の基本的考え方 観光資源の定義、観光資源の種別	事前学修（90分）：自らの観光旅行の経験について、動機、目的、行動の視点で整理する 事後学修（90分）：講義資料とノートを確認しながら課題に回答し、授業内容を復習する			波潟郁代		
3	日本の観光資源の動向① ～基本的な考え方と代表例を知る～ 観光資源の種別に基づく観光地理	事前学修（90分）：日本の観光地の知識についての回答の作成 事後学修（90分）：講義資料とノートを確認しながら課題に回答し、授業内容を復習する			波潟郁代		
4	日本の観光資源の動向② ～世界からみた日本への旅行の魅力～ 訪日インバウンドの訪問先のトレンド	事前学修（90分）：海外からみた日本のイメージや日本への旅行意向の意識調査の資料を読む 事後学修（90分）：講義資料とノートを確認しながら課題に回答し、授業内容を復習する			波潟郁代		
5	世界の観光資源の動向（世界遺産） 世界遺産登録の背景と代表的事例	事前学修（90分）：世界の観光地に関する知識についての回答の作成 事後学修（90分）：講義資料とノートを確認しながら課題に回答し、授業内容を復習する			波潟郁代		
6	観光資源の評価とサステナビリティ 観光資源の保全と活用の歴史と事例を学びます	事前学修（90分）：観光政策に関する資料や観光庁のサイトを見る 事後学修（90分）：講義資料とノートを確認しながら課題に回答し、授業内容を復習する			波潟郁代		
7	観光政策と観光資源 日本の近年の観光政策と新たな観光資源を考えます	事前学修（90分）：持続的な観光に関する政策資料や意識調査を読む 事後学修（90分）：講義資料とノートを確認しながら課題に回答し、授業内容を復習する			波潟郁代		
8	日本人の韓国旅行をテーマに、観光資源と訴求する旅行者層の調査・発表① ～日本人の韓国旅行の現状を理解し、グループトークへ～ 初回は韓国の魅力と観光資源について議論し、行程をつくります、	事前学修（90分）：韓国や韓国旅行に関わる媒体（雑誌、ガイドブック、ウェブサイト）を調べる 事後学修（90分）：講義資料とノートを確認しながら課題に回答し、授業内容を復習する			波潟郁代		
9	日本人の韓国旅行をテーマに、観光資源と訴求する旅行者層の調査・発表② グループごとで発表	事前学修（90分）：韓国や韓国旅行に関わる媒体（雑誌、ガイドブック、ウェブサイト）を調べる 事後学修（90分）：講義資料とノートを確認しながら課題に回答し、授業内容を復習する			波潟郁代		
10	観光資源のマネジメント① ～事例から 従来の有名観光地の進化～ ニセコの観光資源と観光振興について学びます	事前学修（90分）：事例となる地域の旅行情報サイトを見て整理する 事後学修（90分）：講義資料とノートを確認しながら課題に回答し、授業内容を復習する			波潟郁代		

11	観光資源のマネジメント② ～事例から 新たな観光資源で交流創出～ 熱海の観光資源と観光振興について学びます	事前学修(90分)：事例となる地域の旅行情報サイトを見て整理する 事後学修(90分)：講義資料とノートを確認しながら課題に回答し、授業内容を復習する	波潟郁代
12	観光資源のマネジメント② ～事例から 新たな観光資源で交流創出～ 川越をに代表される重要伝統的建造物群保存地区と観光振興について学びます	事前学修(90分)：読んだことのある情報媒体やSNSなどを整理し、回答を作成 事後学修(90分)：講義資料とノートを確認しながら課題に回答し、授業内容を復習する	波潟郁代
13	観光資源と情報発信 地域が地域の観光資源をどのように発信しているか、情報媒体について理解します	事前学修(90分)：狭山市・入間市などの情報を調査するとともに、日本全国でお茶を活用した地域活性化と情報発信の地域を探す 事後学修(90分)：発表内容をまとめる	波潟郁代
14	観光資源と情報発信 「お茶」をつかった全国の観光振興と情報についてグルーptークをします	事前学修(90分)：発表内容をまとめる 事後学修(90分)：講義資料とノートを確認しながら課題に回答し、授業内容を復習する	波潟郁代
15	期末試験： 授業全体の理解度および自らの考察をまとめる応用力を問う内容	事前学修(90分)：これまでの講義で得られた知見についての回答 事後学修(90分)：授業内容を復習する	波潟郁代
成績評価の方法と基準	授業への参加度(出席率およびリアクションペーパーの提出と内容、および課題発表から評価します)…60% 授業全体の理解度および自らの考察をまとめる応用力を問う期末試験…40%		
履修上の留意点	授業内容に関する積極的な回答や質問、事前・事後学修への意欲的な取り組みを期待します。		
ディプロマ・ポリシーとの関連	本科目は、サービス経営学部ディプロマポリシー(1)、(2)と関連しています。とくに観光資源に関わる考え方を学ぶことで、自らの興味がある観光資源や現代の観光資源のトレンドについて客観的に考察・説明する能力を身につけることが重要です。		
教科書	使用しません。		
参考書・参考資料	適宜紹介します。		
学生との連絡方法	AAAやメールを用いて連絡を取ります。		
実務経験科目	実務経験科目に該当する。株式会社JT Bおよび株式会社JT B総合研究所に勤務。旅行商品の販売促進、広報実務、観光マーケティングに従事。JT Bが50年以上発表し続けている、夏休み、年末年始、年間の旅行推計を15年以上担当。生活者のライフスタイルや価値観の変化による観光の変化を研究するとともに、自治体の総合計画や観光ビジョンの有識者委員や公的団体のまちづくりの専門官を務めた。実務経験をもとに観光資源の理論と実践の融合を図っている。		

授業形態	開講学部	サービス経営学部		選択	2単位	グループワーク・講義	
	2年次	開講期	後期	ディスカッション	有	学外授業	無
授業科目（英名）	観光実務論（Practices in Tourism Business）						
担当教員名	波潟 郁代 (◎は科目責任者)						
<p>〔授業の概要〕 観光庁が2008年に設立された際、観光立国を目指し、観光振興を推進するために最初に整備されたのが「観光統計」でした。訪日外国人旅行者が増加し、観光形態や観光地が変容する中、国や自治体だけではなく、観光関連の企業が事業を推進し、観光客数や売上を拡大するには、観光の現状を客観的に把握すること、旅行者の姿を知る、そして自己分析することが必要です。その指標となるのが観光統計や意識調査による様々なデータです。 本講義では、観光の現状把握に必要な統計を理解していただきながら、各種データからコロナ禍前後の観光動向と旅行者の動きについて解説します。グループ学習では特定地域のデータをもとに、現状把握と課題の抽出、解決策をまとめ、発表していただきます。</p> <p>〔科目の位置付け（全学年を通しての関連科目）〕 この科目は、本学部のカリキュラムポリシー(3)、ホスピタリティ・ツーリズムコースの実践的で柔軟な専門性を修得する科目に位置付けられます。観光の現状をデータに基づき客観的に把握し、現状の課題や変化を見出す、また、観光を取り巻く社会とのつながりを理解し、俯瞰力を身につけます。</p> <p>〔到達目標〕 (1) 旅行・観光の現状把握や課題の抽出に必要な情報を、身近な情報やニュース、統計データなどから選択肢、絞り込み、他者が理解できるように説明できる。 (2) 観光統計や意識調査など様々なデータの種類と活用方法を知る。データから旅行者の姿や観光の現状を理解し、課題を見つけことができる。課題を解決するための仮説を論じることができる。</p>							
回	授業計画			授業外学修 (事前学修・事後学修)		担当者	
にほ1	講義ガイダンス 観光マーケティングの全体像を把握します。同時に他のツーリズムの授業、「観光サービス論」「観光資源論」「観光実務論」「観光まちづくり論」の学びの視点や目的の違いを理解していただきます。			事前学修(90分)：観光統計のある資料を読む 事後学修(90分)：観光統計からわかることを考える		波潟郁代	
2	一般的なデータの種類の活用事例 オープンデータ、ビッグデータ、意識調査によるデータと活用事例を学びます			事前学修(90分)：「旅行動向」で使用されている統計を書きだす 事後学修(90分)：授業で使用した各統計から分かることを復習する		波潟郁代	
3	観光の現状把握に必要な統計を理解する① 「JTB旅行動向見通し（JTBが発表する旅行推計）」を読み解きながら、実際に使用されている統計データのうち、経済統計について把握します			事前学修(90分)：「旅行動向」の統計と分析を書きだす 事後学修(90分)：授業で使用した各統計から分かることを復習する		波潟郁代	
4	観光の現状把握に必要な統計を理解する② 日本政府観光局による「訪日外客数、日本人出国者数」観光庁の「宿泊旅行統計調査」について理解します			事前学修(90分)：観光庁の観光統計のサイトをみる 事後学修(90分)：授業で使用した各統計から分かることを復習する		波潟郁代	
5	観光の現状把握に必要な統計を理解する③ 外国人消費動向調査から訪日外国人の消費の変化と行動を、事例とともに理解していただきます			事前学修(90分)：観光庁の観光統計のサイトをみる 事後学修(90分)：観光統計からわかることを考える		波潟郁代	
6	観光の現状把握に必要な統計を理解する④ 「JTB旅行動向」「日本交通公社旅行年報」から基本的な日本人の旅行スタイルについて学びます			事前学修(90分)：「日本交通公社旅行年報」のサイトをみる 事後学修(90分)：観光統計からわかることを知る		波潟郁代	
7	グループワーク1 外国人消費動向調査をグループで分析、検討し、消費額向上に向けた戦略および具体的なプランを企画します ①グループワーク			事前学修(90分)：日本交通公社と日本投資政策銀行の共同調査を読む 事後学修(90分)：観光統計①～③の復習と観光統計から分からないことを知る		波潟郁代	
8	グループワーク1 外国人消費動向調査をグループで分析、検討し、消費額向上に向けた戦略および具体的なプランを企画します ②発表			事前学修(90分)：観光庁の観光統計のサイトをみる 事後学修(90分)：インバウンドの推移をグラフ化する		波潟郁代	
9	観光立国とインバウンド（国や自治体の政策やしくみを理解する）① 観光立国推進基本計画を理解するとともに、進捗状況を地域や民間事業者の事例とともに学びます			事前学修(90分)：統計データからインバウンドについて都道府県の比較をする 事後学修(90分)：都道府県の取り組みとデータの関連性を復習する		波潟郁代	
10	観光立国とインバウンド（国や自治体の政策やしくみを理解する）② 地域の観光振興基本計画を学びます（埼玉県および川越を事例に）			事前学修(90分)：統計が使用されるインバウンドのニュースを読み、事前質問に回答する 事後学修(90分)：観光立国とインバウンドの動きの全体の復習		波潟郁代	
11	観光マーケティングを活用した事例の紹介 情報発信について事例を通じて学びます			事前学修(90分)：グループワークで調べたい観光地を探す 事後学修(90分)：調べたい内容をまとめる		波潟郁代	
12	富裕層の旅行とグループワーク2 ※地域の観光関係者になったつもりで、富裕層向け観光プランの企画と高級船クルーズ会社やインバウンドの旅行会社にプラン採用のプレゼンを行ってもらいます ①富裕層の旅行行動と旅行プラン、およびプレゼンの構成を学び、グループに分かれて議論開始			事前学修(90分)：対象地の観光統計を探す 事後学修(90分)：調べたい内容をまとめる		波潟郁代	

13	富裕層の旅行とグループワーク 2 ②グループで議論、資料作成	事前学修 (90分) : 発表内容をまとめる 事後学修 (90分) : 発表内容をまとめる	波潟郁代
14	富裕層の旅行とグループワーク 2 ③発表	事前学修 (90分) : 発表内容をまとめる 事後学修 (90分) : 発表内容をまとめる	波潟郁代
15	期末試験 授業全体の理解度と、データや資料をみながら分析と自らの意見をまとめる 応用力を問う内容の期末試験になります。	事前学修 (90分) : これまでの講義内容を復習する 事後学修 (90分) : 講義内容をまとめる	
成績評価の方法と基準	学習意欲の把握を行うものとして出席率およびフィードバックシートの提出状況と内容 (30%)、グループワークでの取り組み (30%)、期末試験 (40%)		
履修上の留意点	本講義はただ話を聞くだけではなく、自らデータを読み説き、グループワークで課題と解決策の仮説を出す作業を行います。1つの正解を求めるための講義ではありませんので、考えることを楽しもうと思える積極的な学生の受講を期待します。		
ディプロマ・ポリシーとの関連	本科目は、サービス経営学部ディプロマ・ポリシーの(1)、(2)に関連します。特に観光動態を自ら調べ、理解することが重要です。		
教科書	使用しません。		
参考書・参考資料	適宜、紹介します。		
学生との連絡方法	AAAやメールを用いて連絡をとります。		
実務経験科目	実務経験科目に該当する。株式会社JTBおよび株式会社JTB総合研究所に勤務。旅行商品の販売促進、広報実務、観光マーケティングに従事。JTBが50年以上発表し続けている、夏休み、年末年始、年間の旅行推計を15年以上担当。コロナ禍の3年間における旅行の変化を各種データや意識調査から研究した。実務経験をもとに、観光実務の理論と実践の融合を図っている。		

授業形態	開講学部	サービス経営学部		選択	2単位	講義		
	2年次	開講期	後期	ディスカッション	無	学外授業	無	
授業科目 (英名)	ニューツーリズム論 (New Tourism)							
担当教員名	波潟 郁代							(◎は科目責任者)
<p>〔授業の概要〕</p> <p>ニューツーリズムとは、名所旧跡や景勝地を訪問する従来型の観光旅行ではなく、テーマ性の強い体験型の新しいタイプの観光やしぐみをいいます。観光庁は現在、「ニューツーリズムの振興」を「テーマ別観光による地方誘客事業」として展開しています。日本の観光旅行の広がりは、第二次世界大戦後、経済成長により生活が豊かになりレジャー志向が高まったことに端を発します。当時、観光は名所旧跡、自然やリゾート、テーマパークなどが中心でした。その後、社会の変化とともに人々の趣味や娯楽が多様化し、旅行者の志向や観光スタイルも多様化、細分化してきました。一方で地域側も旅行者の志向の変化を察知するとともに観光を地域の産業や生活文化と結びつけ、様々なテーマで誘客提案を行うようになりました。本講義は、旅行・観光の意義やあり方の変化を旅行者と地域側の両面から概観し、なぜ、ニューツーリズムの振興が広がったのか、代表的なテーマ別観光についての特徴について、地域との関係とともに解説します。</p> <p>〔科目の位置付け (全学年を通しての関連科目)〕</p> <p>本科目は、本学部のカリキュラムポリシー(3)、ホスピタリティ・ツーリズムコースの実践的で柔軟な専門性を修得する科目に位置付けられます。旅行者の志向や旅行・観光スタイルは常に変化し、観光にかかわるプレイヤーも観光事業者以外に多岐に渡るようになりました。講義を通じて、観光が時代の変化に対応し、旅行者や地域側双方にとってのニーズの変化にどう応えていくべきかを考える機会とします。</p> <p>〔到達目標〕</p> <p>(1) 旅行者の志向や旅行・観光のあり方の変化を理解し、現在とその先について持論を展開できる。 (2) 代表的なニューツーリズム (テーマ別観光) の特徴や地域との関係を説明できる。</p>								
回	授業計画			授業外学修 (事前学修・事後学修)		担当者		
1	本講義の紹介： 観光振興におけるニューツーリズムの位置付けを学ぶとともに、その他の ツーリズムの授業、「観光サービス論」「観光資源論」「観光実務論」「観 光まちづくり論」の学びの視点や目的の違いを理解していただきます。			事前学修 (90分)：シラバスを よく読み、この授業の方法・趣 旨を確認する 事後学修 (90分)：講義資料と ノートを確認しながら課題に回 答し、授業内容を復習する		波潟郁代		
2	ニューツーリズムが生まれた背景① ～人はなぜ旅をするか 人間の進化と旅の歴史～			事前学修 (90分)：世界史、日 本史から、旅をした偉人につい て調べる回答 事後学修 (90分)：講義資料と ノートを確認しながら課題に回 答し、授業内容を復習する		波潟郁代		
3	ニューツーリズムが生まれた背景② ～高度経済成長とマスツーリズムの時代の観光～			事前学修 (90分)：周囲の年長 者に若い頃と現在の旅行経験を 多く聞き、整理する 事後学修 (90分)：講義資料と ノートを確認しながら課題に回 答し、授業内容を復習する		波潟郁代		
4	ニューツーリズムが生まれた背景③ ～個人化・多様化が進む社会におけるライフスタイルと旅行～			事前学修 (90分)：最近の自分 の旅行の目的や行動について振 り返り、まとめる 事後学修 (90分)：講義資料と ノートを確認しながら課題に回 答し、授業内容を復習する		波潟郁代		
5	ニューツーリズムが生まれた背景③ ～デジタル時代におけるライフスタイルおよび旅行への影響～ ※Z世代を中心に、世代別の特徴と旅行の志向についても学びます			事前学修 (90分)：自分と普段 交流する人(両親、兄弟、友人 等)が生まれ育った時代につい て調べる 事後学修 (90分)：講義資料と ノートを確認しながら課題に回 答し、授業内容を復習する		波潟郁代		
6	ニューツーリズムを促進する組織について 観光振興を担う各行政機関の役割、施策について学びます			事前学修 (90分)：観光白書・ 観光立国推進基本計画の指定し たページを読む 事後学修 (90分)：講義資料と ノートを確認しながら課題に回 答し、授業内容を復習する		波潟郁代		
7	シェアリングエコノミーと観光ビジネスの変化 ～宿泊施設の多様化：民泊、ゲストハウス、テーマ別宿泊施設～			事前学修 (90分)：Airbnbのリ スティングを日本・海外両方検 索する 事後学修 (90分)：講義資料と ノートを確認しながら課題に回 答し、授業内容を復習する		波潟郁代		
8	代表的なテーマ別観光① ～コンテンツコンテンツ・ツーリズム：映画・アニメのロケ地～			事前学修 (90分)：メディア作 品に出てきた場所についての回 答の作成 事後学修 (90分)：講義資料と ノートを確認しながら課題に回 答し、授業内容を復習する		波潟郁代		
9	代表的なテーマ別観光② ～アートをテーマとしたツーリズム～			事前学修 (90分)：国内外の国 際芸術祭について調べる 事後学修 (90分)：講義資料と ノートを確認しながら課題に回 答し、授業内容を復習する		波潟郁代		
10	代表的なテーマ別観光③ ～音楽をテーマとしたツーリズム (クラシック・ロックフェス)～			事前学修 (90分)：コンサ ート・音楽ライブに関する回答の 作成 事後学修 (90分)：講義資料と ノートを確認しながら課題に回 答し、授業内容を復習する		波潟郁代		

11	代表的なテーマ別観光④ ～ヘルストゥリズム～	事前学修(90分)：ヘルストゥリズムに関する資料やサイトを見る 事後学修(90分)：講義資料とノートを確認しながら課題に回答し、授業内容を復習する	波潟郁代
12	代表的なテーマ別観光⑤ ～アドベンチャートゥリズム～	事前学修(90分)：アドベンチャートゥリズムに関する資料やサイトを見る 事後学修(90分)：講義資料とノートを確認しながら課題に回答し、授業内容を復習する	波潟郁代
13	代表的なテーマ別観光⑥ ～復興トゥリズム～ 災害などにより被災した地域を観光の力で再生する事例を学びます	事前学修(90分)：東北地区の東日本大震災からの復興に関わるトゥリズムを調べる 事後学修(90分)：講義資料とノートを確認しながら課題に回答し、授業内容を復習する	波潟郁代
14	代表的なテーマ別観光⑦ ～エコトゥリズム～ 環境保全と活用、アドベンチャートゥリズムの違いを理解します	事前学修(90分)：エコトゥリズムに関する資料やサイトを見る 事後学修(90分)：講義資料とノートを確認しながら課題に回答し、授業内容を復習する	波潟郁代
15	期末試験	事前学修(90分)：本講義から得られた知見についての洗い出し 事後学修(90分)：授業内容を復習する	波潟郁代
成績評価の方法と基準		授業への参加度(出席、リアクションペーパーの提出および内容から評価)・・・50% 授業全体の理解および自らの意見をまとめて表現する応用力を問う内容の期末試験・・・50%	
履修上の留意点		授業内容に関する積極的な回答や質問、事前・事後学修への意欲的な取り組みを期待します。	
ディプロマ・ポリシーとの関連		本科目は、サービス経営学部ディプロマポリシー(1)～(3)と関連しています。とくにニュートゥリズム(テーマ別観光)の様々な事例を幅広く学び、旅行者の求めているもの、観光事業者のサービスやホスピタリティについて理解することが重要です。	
教科書		使用しません。	
参考書・参考資料		適宜紹介します。	
学生との連絡方法		AAAやメールを用いて連絡を取ります	
実務経験科目		実務経験科目に該当する。株式会社JTBおよび株式会社JTB総合研究所に勤務。旅行商品の販売促進、広報実務、観光マーケティングに従事。JTBが50年以上発表し続けている、夏休み、年末年始、年間の旅行推計を15年以上担当。生活者のライフスタイルや価値観の変化による観光の変化を研究するとともに、自治体の総合計画や観光ビジョンの有識者委員や公的団体のまちづくりの専門官を務めた。実務経験をもとにニュートゥリズムの特性について理論と実践の融合を図っている。	